



Kumamoto University

熊本大学概要 2018





熊本大学は長い歴史と素晴らしい伝統を持つた大学です。文学部、法学部及び理学部は、第五高等学校、教育学部は師範学校、工学部、薬学部はそれぞれ専門学校、医学部は医科大学を母体として、昭和24（1949）年に新しい制度の下に総合大学として発足しました。現在までに12万人以上の有為の人材を社会に送り出しています。卒業生は世界で、また各界で活躍しています。

熊本大学は研究拠点大学として、地域に貢献する大学として、また、国際化した大学として、有為な人材を育成していくことを目指すとともに、その伝統を守り、多くの文化に理解を示し、国内外の様々な問題に関心を持ち、それらの問題の解決能力と自分の考えを説明する力を備えた人材を養成することを目指しています。そのための教育戦略として「旧制五高以来の剛毅木訥の気風を受け継ぎ、“Global Thinking and Local Action”

— 理 念 —

本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献することを目的とする。

— 目 的 —

教 育

個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的な教育を行う。学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。

また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。

研 究

高度な学術研究の中核としての機能を高め、最先端の創造的な学術研究を積極的に推進するとともに、人類の文化遺産の豊かな継承・発展に努める。

また、総合大学の特徴を活かして、人間、社会、自然の諸科学を総合的に深化させ、学際的な研究を推進することにより、人間と環境の共生及び社会の持続可能な発展に寄与する。

地域貢献・国際貢献

地方中核都市に位置する国立大学として地域との連携を強め、地域における研究中枢的機能及び指導的人材の養成機能を果たす。世界に開かれた情報拠点として、世界に向けた学術文化の発信に努めることにより、地域の産業の振興と文化の向上に寄与する。

また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、双方向的な国際交流の担い手の育成を目指す。

創造する森 挑戦する炎



本学の理念・根源的な特質を社会に広く訴えることを目的としたコミュニケーションワード

できる人材育成」を掲げました。輝く未来のために新しい創造的な「知」がどんどん生まれ育ち、また、いかなる困難の中でも、怯むこと無く、具体的に課題を解決していく熊大スピリットを力強く表現したコミュニケーションワード「創造する森 挑戦する炎」が意図するところはここにあります。

平成28年熊本地震の発生から2年が経ちました。多くの方々の温かいご支援を受け、今はほとんどの施設と設備が復旧し、学生も元気に勉学に励んでいます。環境の復旧がほぼ終了した今こそ如何に教育、研究、社会貢献の活動を活性化させていくかが問われてくると思います。熊本大学は、最大の教育研究効果が発揮できるよう、今後も大学改革を進めてまいります。

熊本大学長

原田 信志



熊本大学の校章は、熊本市の市木でもあり、キャンパス内にも多く植えられている「銀杏」がモチーフとなっています。



熊本大学
Kumamoto University

学内外のコミュニケーションの活発化を目的としたコミュニケーションマークは、くまもとの「く」を象っていると同時に、Kumamoto の「K」を変化させ、さらに前進していく矢印をイメージし、校旗を彩る紫紺とうこんで彩色したデザインです。伝統を尊重しながら、躍進を続ける熊本大学を象徴しています。

学年歴

学年開始 4月 1日

前学期 4月 1日～9月25日

春季休業 4月 1日～4月 3日

入学式 4月 4日

夏季休業 8月11日～9月25日

後学期 9月26日～3月31日

开学記念日 11月 1日

冬季休業 12月25日～1月 6日

卒業式 3月25日

学年終了 3月31日

CONTENTS

1 組織

管理運営体制	1
教育研究組織等	2
事務組織	4
役職員	5

2 教育研究等

学部	7
大学院	9
専攻科・別科	11
研究所	12
機構	12
学内共同教育研究施設	13
保健センター、障がい学生支援室、文書館	15
学外オフィス	16
寄附講座等	18
共同研究講座等	18
医学部附属病院	19
附属図書館	20

3 職員・学生数等

役員等数・職員数	21
学生・生徒・児童及び幼児数	22
入学状況	25
卒業後の状況	26
修了後の状況	27
学位授与数	28
奨学生数	28

4 国際交流

国際交流協定	29
研究者の派遣・受入れ	30
海外派遣留学生	31
海外語学セミナー及び協定校でのサマープログラム	32
国際奨学事業	32
外国人留学生	33
国際交流会館	33

5 社会連携

生涯学習	34
五高記念館入館者数	34
包括的連携協定等	35

6 福利厚生施設

	36
--	----

7 財政

平成30年度収入・支出予算額	37
科学研究費助成事業採択状況	38
外部資金等受入状況	38
主な競争的資産採択状況	39

8 キャンパス

土地・建物面積	40
位置図	41
主要施設等配置図	42

9 熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

	45
--	----

10 沿革略図

	47
--	----

11 沿革略年表

	49
--	----

1 組織

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

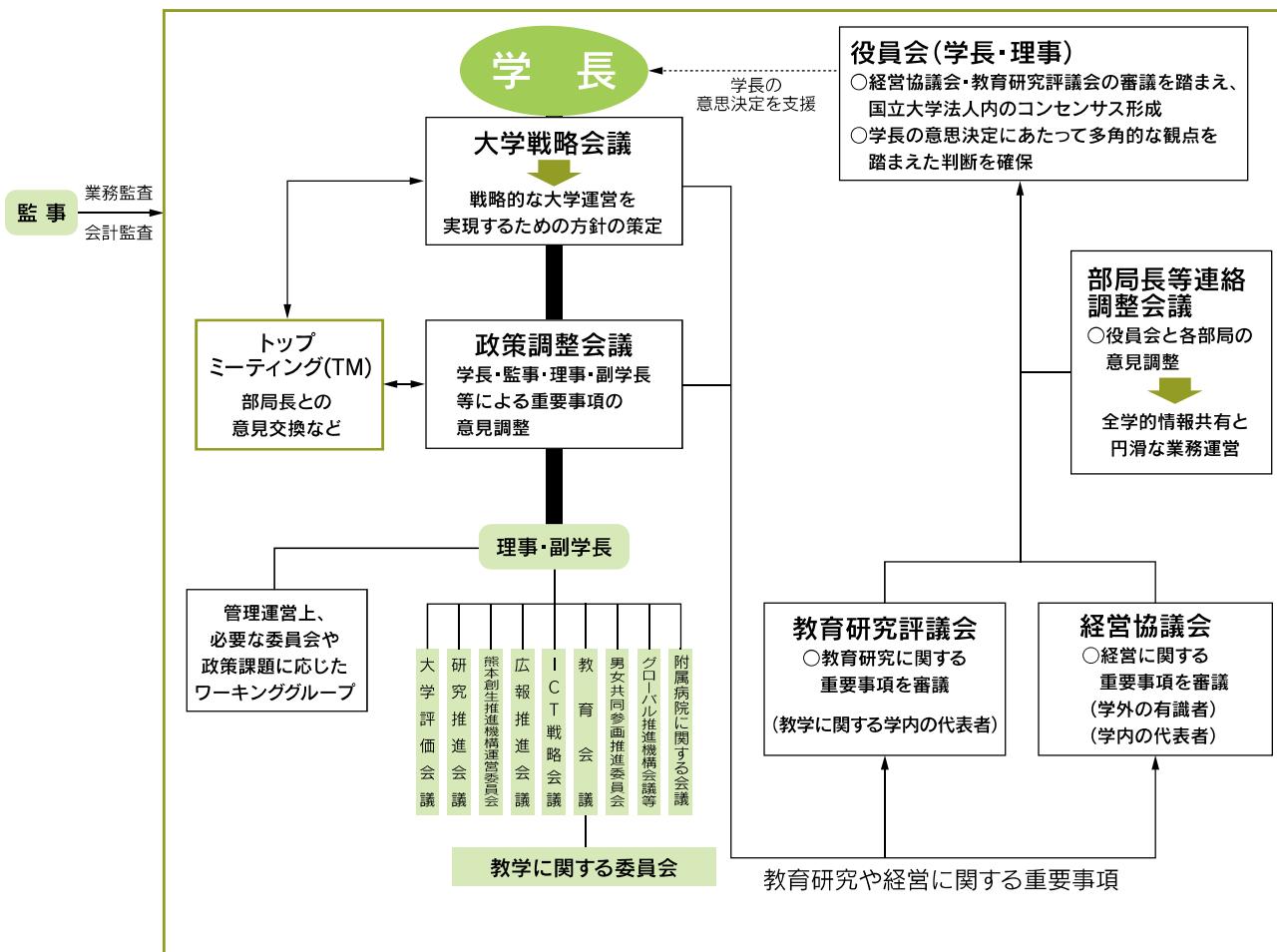
キャンパス

熊本大学
ユバージュニア・アカデミー
沿革略図

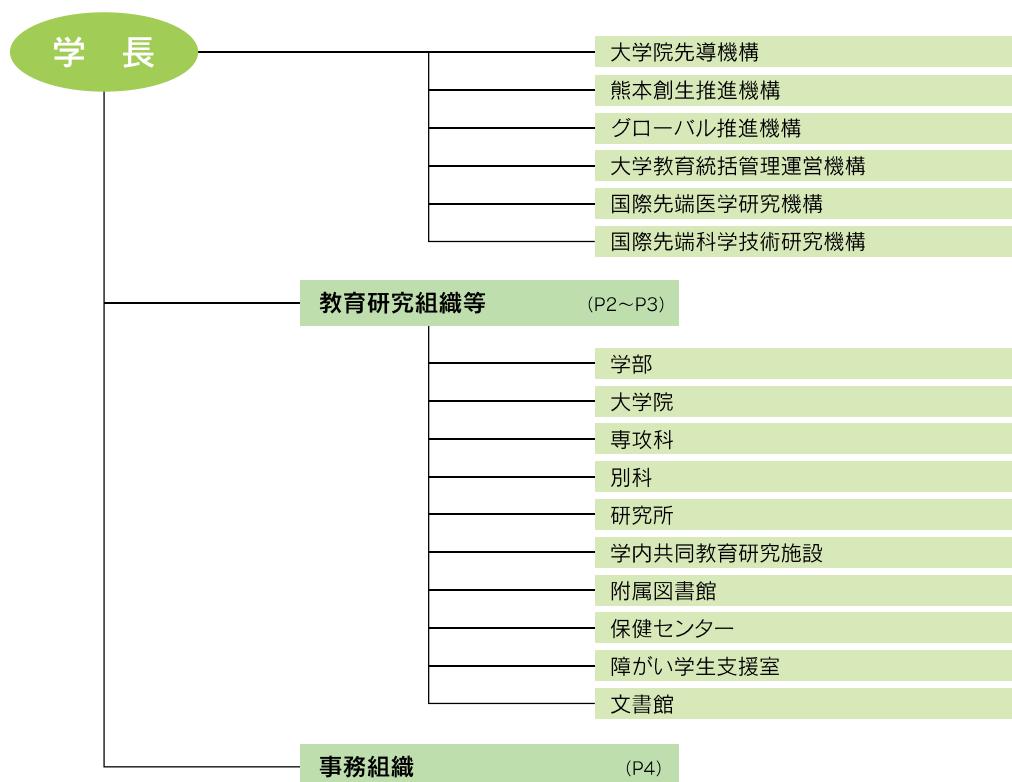
沿革略年表

管理運営体制

概念図



組織図



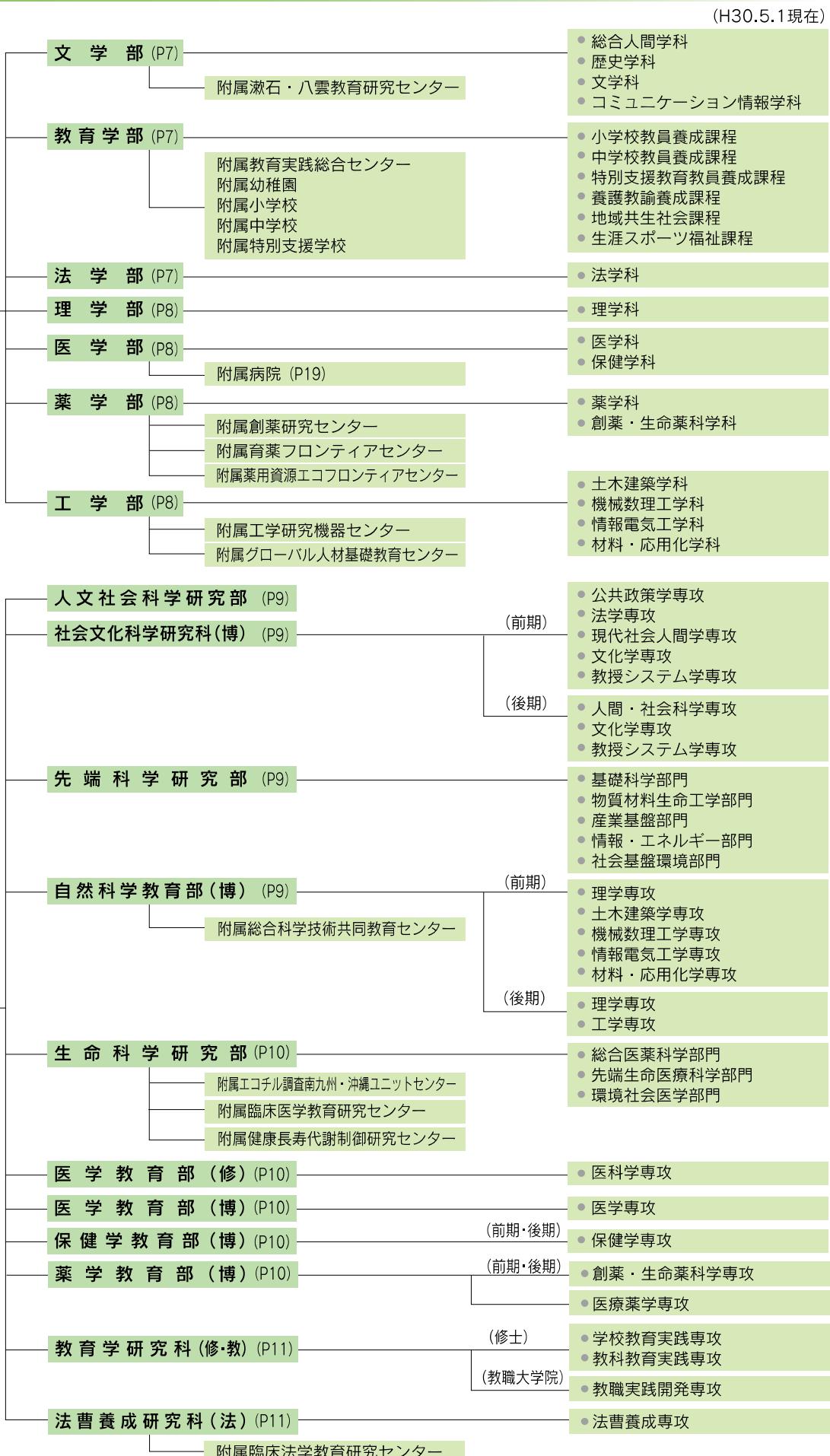
教育研究組織等

熊本大学

学部

大学院

次ページへ続く



1 組織

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

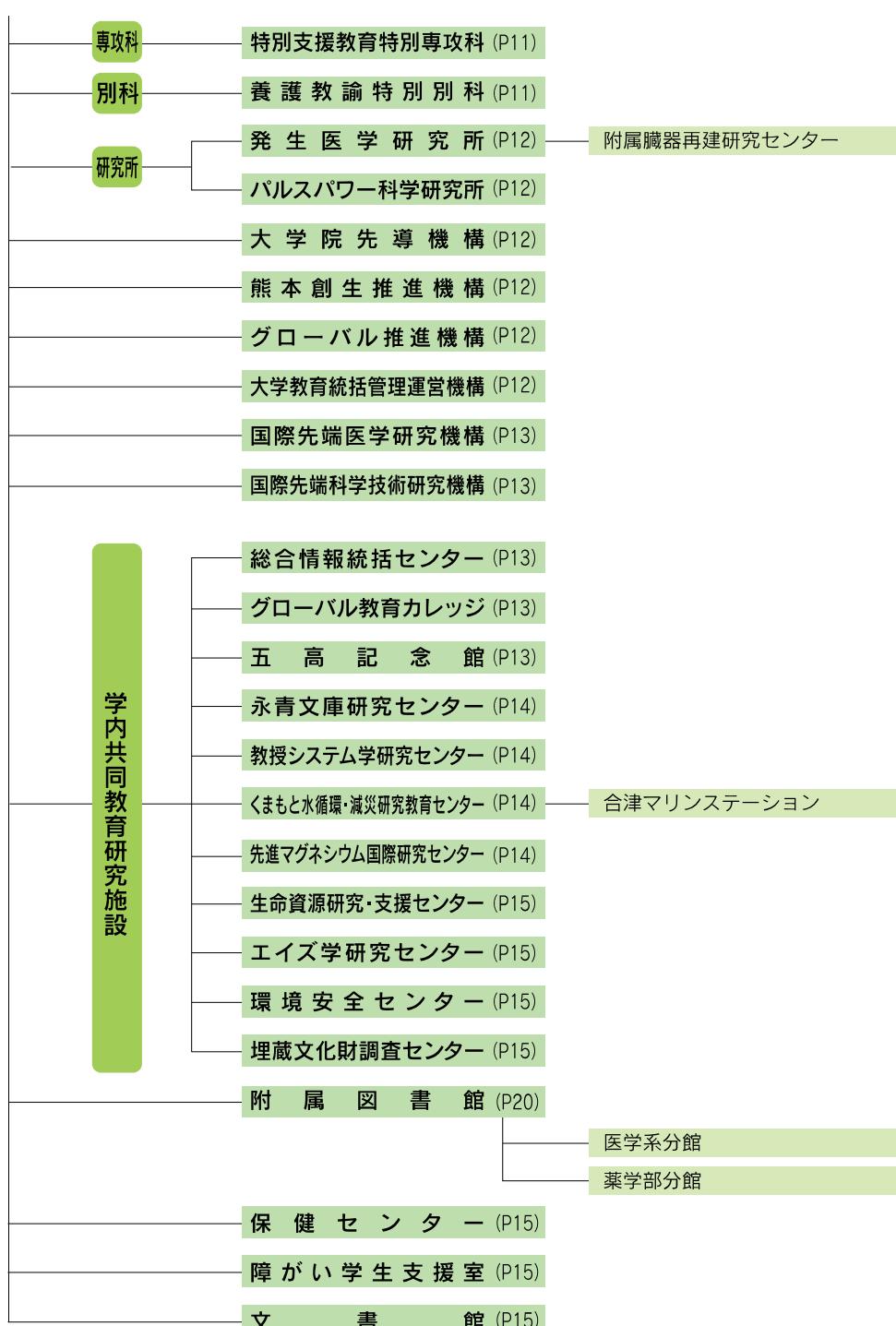
キャンパス

熊本大学
ユバージュミュージアム
沿革略図

沿革略年表

教育研究組織等

前ページより続く



事務組織

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

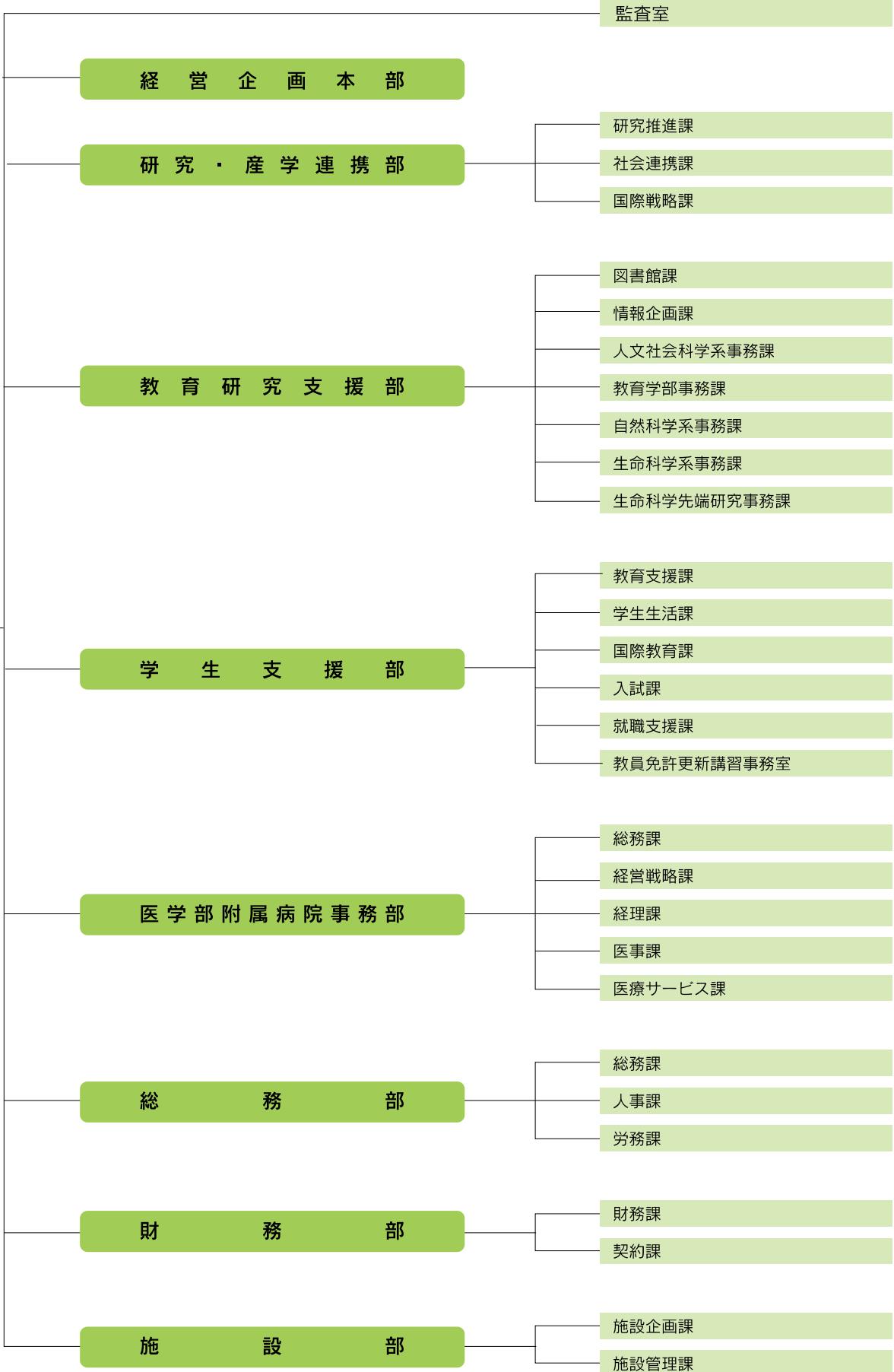
キャンパス

熊本大学
ユバーシティ・ユニバーサル
沿革略年表

沿革略年表

(H30.4.1現在)

熊本大学



1 組織

役職員

役員

学長		原田 信志
教育・学生支援担当(副学長)	古島 幹雄	
研究・社会連携担当(副学長)	松本 泰道	
人事・労務担当(副学長)	山崎 広道	
目標・計画・評価担当(副学長)	竹屋 元裕	
財務・施設担当(事務局長)	有松 正洋	
特命担当(非常勤)	潮谷 義子	
監事	浅井 裕	
会計監査(非常勤・公認会計士)	鶴田 哲三	

副学長

国際交流担当	高島 和希
病院経営担当(医学部附属病院長)	谷原 秀信

顧問

元国立大学法人 熊本大学長	崎元 達郎
元国立大学法人 熊本大学理事	小野 友道
元国立大学法人 熊本大学理事	平山 忠一
元国立大学法人 熊本大学理事	田口 宏昭
元国立大学法人 熊本大学副学長	古川 憲治
前国立大学法人 熊本大学長	谷口 功
前国立大学法人 熊本大学理事	山中 至
前国立大学法人 熊本大学理事	両角 光男
前国立大学法人 熊本大学理事	安部 真一

学長特別補佐

教育担当	大学院先端科学研究部	教 授	濱名 裕治
入試担当	大学院先端科学研究部	教 授	藤本 斎
留学生就職支援担当	大学院先端科学研究部	准教授	伊賀崎 伴彦
就職・学生支援担当	大学教育統括管理運営機構	准教授	井上 尚夫
広報担当	大学院人文社会科学研究部	教 授	大日方 信春
研究担当	大学院人文社会科学研究部	教 授	慶田 勝彦
産学連携担当	大学院先端科学研究部	教 授	中西 義孝
地域連携担当	大学院先端科学研究部	教 授	新留 琢郎
研究不正防止担当	大学院生命科学研究部	教 授	門岡 康弘
国際担当	大学院人文社会科学研究部	准教授	BAUER Tobias Andreas
国際担当	大学院生命科学研究部	教 授	宋 文杰
国際担当	グローバル教育カレッジ	教 授	QUITAN ARMANDO TIBIGIN
男女共同参画担当	大学院教育学研究科	教 授	宮瀬 美津子
学長特命(IR)担当	総合情報統括センター	教 授	中野 裕司

経営協議会

(H30.6.1現在)

学長		原田 信志
理 事	教育・学生支援担当(副学長)	古島 幹雄
	研究・社会連携担当(副学長)	松本 泰道
	人事・労務担当(副学長)	山崎 広道
	目標・計画・評価担当(副学長)	竹屋 元裕
	財務・施設担当(事務局長)	有松 正洋
教 育 研 究 評 議 会 等	教育学部長	八幡 英幸
	工学部長・大学院先端科学研究部長	宇佐川 敏
	大学院生命科学研究部長	安東 由喜雄
	医学部附属病院長	谷原 秀信
学 外 委 員	株式会社肥後銀行代表取締役頭取 九州フィナンシャルグループ代表取締役会長 熊本経済同友会代表幹事	甲斐 隆博
	太陽光発電技術研究組合名誉顧問	桑野 幸徳
	国立大学法人名古屋大学理事	郷 通子
	熊本保健科学大学長	崎元 達郎
	くまもと新世紀株式会社(ホテル日航熊本)代表取締役会長 熊本商工会議所会頭	田川 憲生
	熊本県副知事	田嶋 徹
	日本製紙株式会社代表取締役会長	芳賀 義雄
	株式会社熊本放送(RKK)報道制作局アナウンス部部長	福島 絵美
	熊本大学同窓会連合会会長 医療法人社団寿量会熊本機能病院顧問 NPO法人熊本高齢社会活性化研究センター長	二塚 信
	古荘土地有限会社代表取締役 有限会社エヌティード・エフ代表取締役	古荘 文子
	公益財団法人永青文庫常務理事 熊本県文化协会会长	吉丸 良治

教育研究評議会

学長		原田 信志
理 事	教育・学生支援担当(副学長)	古島 幹雄
	研究・社会連携担当(副学長)	松本 泰道
	人事・労務担当(副学長)	山崎 広道
	目標・計画・評価担当(副学長)	竹屋 元裕
	財務・施設担当(事務局長)	有松 正洋
副 学 長	国際交流担当	高島 和希
	病院経営担当(医学部附属病院長)	谷原 秀信
学 部	文学部長	水元 豊文
	教育学部長	八幡 英幸
	法学院長	深町 公信
	理学院長	市川 聰夫
	工学部長	宇佐川 敏
大 学 院	社会文化科学研究科長	田中 朋弘
	人文社会科学研究部長	水元 豊文
	先端科学研究部長	宇佐川 敏
	生命科学研究部長	安東 由喜雄
	自然科学教育部長	市川 聰夫
	医学教育部長	安東 由喜雄
	保健学教育部長	前田 ひとみ
	薬学教育部長	甲斐 広文
	法曹養成研究科長	馬場 啓

附属図書館長	高宮 正之
発生医学研究所長	西中村 隆一
総合情報統括センター長	杉谷 賢一
くまもと水循環・減災研究教育センター長	柿本 竜治
生命資源研究・支援センター長	尾池 雄一
エイズ学研究センター長	松下 修三

部局長等

学 部	文学部長	水元 豊文
	附属漱石・八雲教育研究センター長	水元 豊文
	教育学部長	八幡 英幸
	附属教育実践総合センター長	干川 隆
	附属幼稚園長	緒方 信行
	附属小学校長	島田 秀昭
	附属中学校長	黨 武彦
	附属特別支援学校長	八幡 彩子
	法学部長	深町 公信
	理学部長	市川 聰夫
	医学部長	安東 由喜雄
	附属病院長	谷原 秀信
	薬学部長	甲斐 広文
	附属創薬研究センター長	杉本 幸彦
	附属育薬フロンティアセンター長	平田 純生
	附属薬用資源工コフロンティアセンター長	渡邊 高志
	工学部長	宇佐川 育
	附属工学研究機器センター長	國武 雅司
	附属グローバル人材基礎教育センター長	藤吉 孝則
大 学 院	教育学研究科長	八幡 英幸
	社会文化科学研究科長	田中 朋弘
	人文社会科学研究部長	水元 豊文
	先端科学研究部長	宇佐川 育
	生命科学研究部長	安東 由喜雄
	附属エコチル調査南九州・沖縄ユニットセンター長	加藤 貴彦
	附属臨床医学教育研究センター長	尾池 雄一
	附属健康長寿代謝制御研究センター長	山縣 和也
	自然科学教育部長	市川 聰夫
	附属総合科学技術共同教育センター長	市川 聰夫
	医学教育部長	安東 由喜雄
	保健学教育部長	前田 ひとみ
	薬学教育部長	甲斐 広文
	法曹養成研究科長	馬場 啓
	附属臨床法学教育研究センター長	馬場 啓
	発生医学研究所長	西中村 隆一
	附属臓器再建研究センター長	江良 択実
	パルスパワー科学研究所長	松本 泰道

五高記念館長	伊東 龍一
永青文庫研究センター長	稻葉 繼陽
教授システム学研究センター長	鈴木 克明
くまもと水循環・減災研究教育センター長	柿本 竜治
先進マグネシウム国際研究センター長	河村 能人
生命資源研究・支援センター長	尾池 雄一
エイズ学研究センター長	松下 修三
環境安全センター長	外川 健一
埋蔵文化財調査センター長	伊藤 正彦
附属図書館長	高宮 正之
保健センター長	藤瀬 昇

事務部門

事 務 部	監査室	監査室長	芹川 克朗
	経営企画本部	経営企画本部長	大川 鉄也
		課長(経営企画担当)	三浦 牧人
		課長(大学政策支援担当)	入口 英典
	研究・产学連携部	研究・产学連携部長	柳瀬 寿
		研究推進課長	井口 英樹
		社会連携課長	吉本 昭彦
		国際戦略課長	福村 竜也
	教育研究支援部	教育研究支援部長	澤田 敬
		図書館課長	高木 貞治
		情報企画課長	森 保夫
		人文社会科学系事務課長	上野 弘文
		教育学部事務課長	松村 健史
		自然科学系事務課長	吉井 裕治
		生命科学系事務課長	月岡 信隆
		生命科学先端研究事務課長	西川 育
	学生支援部	学生支援部長	河野 美奈
		教育支援課長	磯田 信一
		学生生活課長	芦江 瞳夫
		国際教育課長	内山 裕二
		入試課長	轟 政昭
		就職支援課長	日和田 伸一
		教員免許更新講習事務室長	大山 俊博
医学部附属病院事務部	事務部長	深澤 博昭	
	総務課長	川添 光芳	
	経営戦略課長	丸山 義美	
	経理課長	五島 哲哉	
	医事課長	田尻 邦治	
	医療サービス課長	原 祐輔	
	総務部	総務部長	福本 哲也
財務部	総務課長	後藤 正三	
	人事課長	姥名 博文	
	労務課長	西川 洋子	
	財務部長	増村 隆之	
施設部	財務課長	後藤 光弘	
	契約課長	久保田 英明	
	施設部長	濱田 智	
	施設企画課長	佐藤 行治	
	施設管理課長	松下 栄司	

2 教育研究等

学 部



教育学部



教職実践演習報告会

教育学部は、明治7年5月開校の（県立）熊本師範学校等を前身としており、昭和24年5月に熊本大学教育学部として設置されました。

現在、教育学部には、義務教育関連の教員を養成する小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、特別支援教育教員養成課程及び養護教諭養成課程の4つの課程と、社会教育及び福祉等の学校教育以外の指導者養成を目的とした生涯スポーツ福祉課程並びに地域共生社会課程が設置されています。（生涯スポーツ福祉課程並びに地域共生社会課程は平成29年度から学生募集を停止しています。）

また、「附属教育実践総合センター」では、教育実習関係の指導のほか、教育相談等、教育現場の諸問題に対する対応と実践的研究を行っています。

さらに、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校は、学部との教育・研究面での強い連携と協働により、2~4年次の教育実習指定校として、また九州地域の教育実践研究の先導的なモデル校としてその役割を果たしています。

教育学部の目的は、広い視野と深い教養を持った豊かな人間性を基盤とした教員の養成と地域社会における生涯学習等の指導者の養成であり、生涯にわたって創造的な知的探究を続ける人材を養成することを目指しています。

文学部



独文学演習の一コマ

文学部は、第五高等学校を前身とし、昭和24年に熊本大学法文学部学科として設置され、昭和54年に文学部として独立しました。現在は、総合人間学科、歴史学科、文学科、コミュニケーション情報学科の4学科9教育コースを有し、毎年約170名の学生を迎えております。教育スタッフは約70名で、人間・社会・文化に関わる22の領域にわたって教育研究を行っています。

研究面では、外部資金を獲得した大型プロジェクトを含め、活発に研究活動を展開するほか、文化行政諸機関・団体・企業など地域と連携した文化事業や教育活動を推進しています。研究成果を広く市民に発信する「文学部フォーラム」を毎年開催しています。平成29年には文学部附属漱石・八雲教育研究センターを設置し、国際的な研究の推進と地域連携を図っています。このような地域連携活動は、在学生に対し早くから社会との関わりを意識させるなど、教育と進路支援の面でも効果を上げています。

法学部



政治学演習の様子

法学部は、第五高等学校を前身とし、昭和24年に熊本大学法文学部法学科として設置されました。その後、昭和54年に法文学部を分離改組し、法学部として独立しました。現在は、法学科の下に、法学、公共政策学、紛争解決学についての基礎的能力を修得する「法学・公共政策学コース」と、法学特修、地域公共人材、グローバル・リーダーの3つのクラスに分かれて進路志向型の学習を行う「アドバンスト・リーダー・コース」の2つのコースを設けています。

熊本大学法学部の教育目的は、法的知識を基礎として、法のあるいは政策的に「考える力」「表現する力」「議論する力」を身につけ、現代社会に生起する具体的な問題を解決し得る基礎的能力を育成することにあります。このため1年次から4年次まで演習科目を必修として開講し、少人数で行き届いた教育を行っています。

理学部



電子顕微鏡で観察中の有孔虫化石

理学部は、第五高等学校の理科と熊本工業専門学校の一部を母体として、昭和24年5月に熊本大学の理学部として設置されました。

理学部の学科は理学科1学科となっています。学生は、入学後の2年間で自ら適性を見極めて、数学・物理学・化学・地球環境科学・生物学の5つのコースから自分の志望するコースを選び、3年次以降の専門課程に進みます。また、学部スタッフによるチーチャー制を導入し、一人一人の学生に対して教育サービスを提供しています。

理学部は基礎研究を行う一方、地域や社会のニーズに応じた研究にも積極的に取り組んでいます。卒業後は、半数以上が大学院博士前期課程に進学し、残り約半数の学生が教員・企業・官公庁といった進路に進んでいます。

医学部



臨床医学教育研究センター

医学部は、医学士教育課程である医学科と、保健学士教育課程である保健学科で構成されています。前者の卒業生は医師や研究者に、後者は看護師、保健師、助産師、診療放射線技師及び臨床検査技師や研究者になります。

医学科は、明治29年の私立熊本医学校設立以来、1万人を超す卒業生を輩出しています。臨床医学教育研究センターを中心に行き、医学教育の充実を図りながら、使命である「豊かな人間性と高い倫理観を持ち、医学及びその関連領域における社会的な使命を追求、達成しうる医師・医学者を育てる」に向けた教育を実施しています。

保健学科は、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻の3専攻で構成されています。生命や人間の尊厳に基づく豊かな教養と高度な専門知識・技能を有し、チーム医療のスタッフとして地域及び国際社会に貢献でき、保健学の発展を担える資質を備えた医療技術者、研究者、教育者の育成に向けた教育を実施しています。

薬学部



薬学科 6年生コース



創薬・生命薬学科 4年生コース

薬学部では、“薬学は医薬を通じて人類の健康に貢献する総合科学である”との理念のもと、薬剤師養成6年制課程として「薬学科」を、研究者養成4年制課程として「創薬・生命薬学科」を設置しています。医薬品の創製・生産・管理、環境・保健衛生及び薬剤師の職能等に関わる基礎知識を修得させ、生命科学を基礎とする高度な創薬・育薬研究能力と倫理観を備えた創造性豊かな人材を育成することを目指し、知識・技能・態度の3つの観点から最新の講義並びに基礎実習及び臨床実習を行っています。卒業後の進路は、病院・薬局薬剤師、製薬・化学企業、官公庁など多彩ですが、卒業生の多くは大学院に進学し、薬学研究者及び高度薬剤師を目指しています。

工学部



学生実験 (走査型電子顕微鏡による金属組織の観察)



組込マイコン実験

工学部は明治30年第五高等学校に設立されて以来、3万を超える卒業生を社会に送り出し、わが国の科学技術や経済の発展に大きく寄与してきました。今や活躍の場は世界へと広がっており、交流協定に基づく海外の大学と連携や海外でのフォーラム開催などを通じ、国際的な連携や拠点づくりを展開しています。教育においては、工学の専門知識と学際的知識を総合化した判断力を有するとともに、問題解決能力や新規分野を開拓発展させる能力を備え、主体的に考え、自ら行動し、人類の福祉と文化の進展、自然との共生に寄与できる技術者を養成することを目的としています。特に、グローバル社会で活躍するとともに、社会的要請に応じた技術革新を行うことのできる人材の育成を目指し、「ものづくり」教育に力を入れています。企業からは多くの求人がある状況ですが、多くの学生はより高度の専門知識やスキルを修得するため、大学院に進学しています。

2 教育研究等

大学院

人文社会科学研究部



大学院の重点化に伴って、生命科学研究部及び先端科学研究所に続き、平成29年4月1日に文学部、法学部、大学院社会文化科学研究科、大学院法曹養成研究科が改組され、教員組織である「大学院人文社会科学研究部」が発足しました。

人文社会科学研究部が新たに設置されることで、生命科学系、自然科学系及び人文社会科学系分野を軸とした教員組織が整備され、若年人口の急激な減少や社会のグローバル化を見据え、また、大学教育の質の確保の観点から教育プログラムを機動的かつ柔軟に見直すことが可能となります。

人文社会科学研究部内においては、活力ある地域社会の発展に寄与するとともに、国際的な文化・学術の発信力を高める人文社会科学の研究拠点の創成を目指し、人文系、社会科学系及び法曹養成系教員の研究資源の連携を強化することで、国際レベルの研究を推進していきます。特に人文系における心理学、歴史学、社会学などの分野で、海外の大学との連携を強化することで文化の発信力を高め、従来の受容型から発信型へと文化研究を転換させていきます。

また、人文系、法学系、政策系の研究資源を集約・融合して紛争解決学の分野の充実を図り、地域社会との連携や海外の大学との連携を強化し、国際水準の研究の基盤を作るとともに、社会からの要請に応える応用的かつ実践的な研究の発展を目指しています。

先端科学研究所



先端科学研究所

大学院の重点化の流れの中で、生命科学研究部に続き、平成28年4月に大学院自然科学研究科が改組され、教員組織である「先端科学研究所」が発足しました。さらに平成30年4月の工学部及び教育学部の改組に伴い、「基礎科学」「物質材料生命工学」「産業基盤」「情報・エネルギー科学」「社会基盤環境」の5部門31分野からなる研究組織に再編しました。研究部全体として、地球環境共生と活力ある社会の持続的発展に貢献する自然系先端科学と高度な応用技術を備えた学術研究拠点の創成を目指しており、独創的かつ先導的な学術研究と社会的要請に応える応用研究を推進し、科学技術の総合的な深化と新たな科学技術の創成、並びに大学院の個性化を達成することを目的に、理学系及び工学系の連携・協力により、活動を進めてまいります。

社会文化科学研究科(博士前期課程、博士後期課程)



社会文化科学研究科は、平成14年4月に文学部・法学部の専門領域の上に学際的・総合的な独立研究科として後期3年博士課程が設置され、平成18年4月にeラーニング専門家の育成を目指した教授システム学(修士課程)が新設されました。また、平成20年4月からは、これまでの社会文化科学研究科と文学研究科(修士課程)、法学研究科(修士課程)を再編統合し、博士前期課程と博士後期課程より構成される新しい組織となりました。

博士前期課程には、従来型の研究コース(8コース)と教授システム学に加え、新しく、公共政策・交渉紛争解決・組織経営・東アジア・ビジネス・コミュニケーション、文化行政・学芸員、英語教育等の専門職コース(7コース)が設置され、広く社会的ニーズに応える教育を実現します。

博士後期課程では高度専門職業人と研究者の養成を目指し、人間文化の諸側面の研究及び現代にふさわしい文化政策形成を目指す「文化学専攻」と、新しい社会システムの構築・政策研究及びその理論的基礎付けを目指す「人間・社会科学専攻」、また「教授システム専攻」の3つの専攻が置かれ、博士前期課程からの進学者だけでなく、社会人、留学生にも門戸を開いています。

自然科学教育部(博士前期課程、博士後期課程)



平成29年11月に台湾で開催された学生国際会議ICAST

自然科学教育部は、高度な専門性に加え、他領域を理解する資質をもった人材を育成するため、平成30年度に自然科学研究科を改組して設置された大学院です。博士前期課程は学部から続く6年一貫的教育を実現する5専攻、博士後期課程は理学専攻と工学専攻の2専攻からなります。

各専攻における高度かつ確実な専門教育に加え、俯瞰的な立場から様々な問題に対処しうる資質を涵養するために、総合科学技術共同教育センター(GJEC)を配置し、研究開発リーダーや起業家を育成するための「イノベーションリーダー育成プログラム」、国際的に活躍する研究者やイノベーションをリードする博士企業人を養成する「Aim-Highプログラム」、更に、英語のみで学位取得が可能な国際共同教育プログラム(IJEP)を提供しています。

このように本教育部は、確実な専門性と、国際性豊かで他分野と協働して問題に立ち向かう能力をもった人材を育成します。

生命科学研究部



平成15年4月に医学部（医学科）と薬学部が一体化し、医学薬学研究部が発足しました。研究部は、研究推進、教員人事や組織運営を主な任務とし、大学院教育を担当する部局としては医学教育部及び薬学教育部、医学部及び薬学部は学部教育を担当する部局になりました。平成22年1月には医学部保健学科教員が加わり、生命科学研究部として改組されました。

生命科学研究部は、3部門15講座75研究分野からなる日本最大級の研究に特化した生命科学系教員組織です。総合医薬科学部門では、医学・薬学分野の基盤的な学問体系の深化を目指した研究を、先端生命医療科学部門では移植医療や分子創薬などの先端的研究を、環境社会医学部門では、“医学・薬学と社会”及び“疾病と環境”的関わりを科学的に究明し、生命倫理に関する先導的研究を推進しています。生命科学研究部は、生命と医療に関する研究と教育を通じて、人類の健康と福祉に貢献することを目指しています。

保健学教育部 (博士前期課程、博士後期課程)



保健学教育部保健学専攻は、平成20年4月に看護学分野、医用放射線科学分野、検査技術科学分野の3分野を備えた大学院修士課程として設置され、平成22年4月には新たに博士後期課程の設置に伴い、修士課程は博士前期課程となりました。

博士前期課程では、保健・医療・福祉領域における実践的指導者（高度専門職業人）及び研究者・教育者の養成を目的として、一般学生並びに医療現場の社会人でも学びやすい教育プログラムを編成しています。募集人員は24名で、修士（保健学）または修士（看護学）の学位が取得できます。

博士後期課程は、医療技術科学系教育コースと看護学系教育コースがあり、保健・医療・福祉分野における自立的・国際的・独創的な研究能力を兼備した研究者・教育者または高度医療専門職業人を養成します。募集人員は6名で、博士（保健学）または博士（看護学）の学位が取得できます。

医学教育部（修士課程、博士課程）



医学教育部は、4年制の博士課程と2年制の修士課程から構成されます。修士課程では、最先端の医学・生命科学領域に対応できる研究者、教育者あるいは高度専門職業人の養成に努めています。平成29年度より社会人修士課程を開設し、仕事をしながら大学院教育を受けることが可能となりました。博士課程では、医学・生命科学分野において世界をリードする研究者・研究医の養成に努めています。また、基礎研究医師を養成するために高校・大学・大学院で一貫教育を行う柴三郎プログラムや、行政・産業界と連携してグローバルな健康生命科学バイオニアとしてのリーダー育成を目指すHIGOプログラムなど、多彩な人材の育成を実施しています。生命科学研究部、医学部附属病院、発生医学研究所、生命資源研究・支援センター、エイズ学研究センター、国際先端医学研究機構（IRCMS）及び学外連携研究組織の約90の研究分野に所属する教員が教育を担当しています。

薬学教育部 (博士前期課程、博士後期課程、博士課程)



大学院薬学教育部では、4年制学士課程を基礎とする創薬・生命薬科学専攻博士前期・後期課程と6年制学士課程を基礎とする医療薬学専攻博士課程が設置されています。創薬・生命薬科学専攻では、創薬マインドに基づいて卓越した研究能力を発揮し、先端的研究や医薬品開発の場で指導できる人材を養成します。医療薬学専攻では、薬学の幅広い知識と思考力から高い研究志向を有する高度医療専門職・研究者・教育者を養成します。本教育部では、生命科学研究部に加えて発生医学研究所、生命資源研究・支援センター、医学部附属病院の教員も教育にあたり、各教員の連携に基づいた特色ある教育プログラムを用意しています。

平成24年度から、文部科学省博士課程教育リーディングプログラム「HIGOプログラム」を実施し、地域と世界の社会的ニーズを理解し、諸課題の解決に挑戦できる‘グローバルな健康生命科学バイオニアとしてのリーダーの養成’も行っています。

2 教育研究等

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバーシティ・ミュージアム
沿革略図

沿革略図

沿革略年表

大学院

教育学研究科(修士課程、教職大学院の課程)



教職大学院授業

教育学研究科は、修士課程の大学院研究科として昭和61年4月に設置され、平成21年4月から、学校教育実践専攻（学校教育[教育学・心理学]、特別支援教育、養護教育の各専修）、教科教育実践専攻（言語系教育[国語教育・英語教育]、理数系教育[数学教育・理科教育]、社会系教育[社会科教育]、生活系教育[技術教育・家政教育]、芸術・スポーツ系教育[音楽教育・美術教育・保健体育]の各専修）の2専攻で構成される組織となりました。また、平成29年4月には教職大学院の課程（教職実践開発専攻の1専攻）が新たに設置されました。

本研究科は、教員として必要な資質能力を向上させることを目的として、学部からの進学者だけでなく、現職教員も受け入れ、教育実践に関する総合的な教育と研究を行っています。なお、修士課程を修了した方は修士（教育学）の学位、教職大学院の課程を修了した方は教職修士（専門職）が授与されます。教員専修免許状も取得できます。

法曹養成研究科(法科大学院の課程)



法曹養成研究科は、地域特有の法的ニーズに応えると同時に、グローバルな法的諸問題を解決する能力をもつ、21世紀を担う法曹の養成を目的として、平成16年4月に設置されました。大学院教育、司法試験、司法修習というプロセスとしての法曹養成を重視し、授業科目を「法律基本科目群」、「法律実務基礎科目群」、「基礎法学・隣接科目群」、「展開・先端科目群」の4大科目群に分け、段階的・系統的なカリキュラムを編成し、理論と実務を架橋する実践的教育、新しい法的ニーズにも対応する特色ある教育を行っています。

また、臨床法学の教育と研究を専門的に担う臨床部門として、「附属臨床法学教育研究センター」を設置しています。本センターは、法律問題をより身近にかつ実践的に学ぶ場として、全学教育棟F棟4階に設置されています。同センターは、リーガル・クリニックなど学生の臨床教育や教員の実務研修を行っているほか、大学の地域貢献を目的として県内各地で無料法律相談を行っています。

なお、本研究科は平成28年度以降の学生募集を停止しましたが、在学生と法務学修生に対する法曹養成教育には、今後も力を入れていきます。

専攻科・別科

特別支援教育特別専攻科



特別支援教育特別専攻科は、現職教員や他分野の教員免許状を持つ、本学及び他大学卒業生を対象に、特別支援教育に関する専門的な知識を有する人材の養成を目的としています。

特別支援学校教諭の一種免許状取得コース及び専修免許状取得コースがあります。

養護教諭特別別科



養護教諭特別別科は、看護師の免許を取得している者や取得見込みの者を対象に、資質の優れた養護教諭を養成することを目的としています。カリキュラムは教養教育科目・養護専門科目・教職専門科目で構成され、修了時に養護教諭一種免許状が取得できます。

研究所

発生医学研究所

本研究所は、発生学の視点から生命科学領域の国際水準の研究教育を推進することを組織目標とし、発生医学の先端的研究、恒常的視野に立った人材育成、国内外の連携ネットワークを強化した国際研究教育拠点として社会的な役割を果たすことを基本理念としています。

昭和14年に設置された体質医学研究所を原点に、遺伝医学研究施設、遺伝発生医学研究施設、発生医学研究センター（平成12年）を経て、平成21年に発生医学研究所に改組されました。翌年には共同利用・共同研究拠点に認定され、トランスオミクス医学研究拠点ネットワーク形成事業（平成28年）にも参画しています。これらの活動を強化するために、臓器再建研究センター、リエゾンラボ研究推進施設、グローカルサイエンス推進施設を設置しています。また15年以上にわたってCOEプログラムや博士課程教育リーディングプログラムの中核組織としての役割も担っています。



パルスパワー科学研究所

パルスパワーは瞬間的にはたらくとても大きな作用力で、極めてユニークな極限反応場を創ることができます。本研究所は、パルスパワーにかかる新しい学理の探求とこれを社会に波及させるための応用研究を推進しています。

本研究所の沿革は昭和46年設立の工学部附属衝撃エネルギー実験所に始まります。その後平成11年に極低温装置室を備える衝撃・極限環境研究センター、平成19年にバイオエレクトリクス研究センターが設置され、平成25年、2つのセンターに学内の関連研究者を加えて本研究所が設立されました。本研究所は、国内大学で唯一の「爆発実験施設」、アジア唯一の「バイオエレクトリクス総合研究施設」、世界最高レベルの「パルスパワー基盤設備」、本学で生まれ育った「超重力発生設備」など、世界最高レベルまたは世界唯一の施設や設備を有し、他大学や企業の研究者との共同利用によってパルスパワー科学技術の普及とさまざまな分野への展開に努めています。



機構

大学院先導機構

本学は、優れた研究環境を確保し学術研究を推進することにより、国際社会及び地域社会に貢献しうる存在感ある総合大学の構築を目指しています。そのために、大学院先導機構では、基礎科学と応用科学の有機的連携のもと、生命科学、自然科学、人文社会科学及び学際・複合・新領域の学問領域で最も力のある分野において先導的研究を重点化し、国際競争力のある研究拠点の形成を推進しています。

また、それを通じて、新研究センター、新大学院専攻等を創出し、もって本学の教育研究活動の充実発展及び変革に寄与することを目指しています。

グローバル推進機構

本学は、平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択を受け、我が国の大学改革を牽引する先導的モデルとして、国内外でリーダーシップを發揮するグローバル人材の育成や地域社会のグローバル化に向けた取組を積極的に推進しています。

グローバル推進機構は、本学のグローバル化に向けて全学的に取り組む組織体として、平成27年3月1日に設置されました。平成30年4月より機構長を副学長（国際交流担当）とする組織へ改組され、真のグローバル大学への変貌を目指して、全学のグローバル化推進活動を先導します。

熊本創生推進機構

熊本創生推進機構は、熊本の地方創生に貢献すること理念に掲げ、平成29年4月に設置いたしました。平成30年4月には、組織改組を実施し、熊本における地域のニーズ及び課題に組織的・戦略的に対応する一元的な窓口として、地(知)の拠点大学である本学の有する知的・人的資源を最適に組み合わせて、組織的な産学官連携活動及び地域連携活動の推進並びに地方創生教育プログラム及び多様な教育機会の提供等により、熊本県内の産業振興、新産業の雇用の創出、平成28年熊本地震からの復旧・復興支援、地域の課題解決及び地域志向の人材育成を図ることを目指し活動しております。

大学教育統括管理運営機構

変容する入試制度とそのような中で入学してくる多様な学生に対応し、膨大な教学データの分析を基に大学のビジョンと戦略から共通教育を構築し、全学共通教育における教育の質を統括管理するガバナンス力の高い組織として設置された教育の中枢組織です。



2 教育研究等

機構

国際先端医学研究機構

国際先端医学研究機構は、本学の生命科学分野における国際的レベルの研究力強化と国際共同研究を推進させることを目的として平成27年4月に発足した組織です。

本機構では生命科学系の部局と連携し、国際的レベルの先端研究の実施、海外の卓越した研究機関との国際共同研究の推進、国際的に活躍できる若手研究人材の発掘・育成を行い、「海外から見える研究組織」となることを目指します。

これらを達成するために、本機構では博士課程の大学院生を含めた研究者の外国人比率が50%になることを目標として、欧米の一流研究機関と同等の研究環境を整備することにより国際共同研究を円滑に行うことができる環境を作っています。

また、本機構に所属する教員・研究者が使用する国際先端医学研究拠点施設では、英語を公用語として使用するとともにオープンラボシステムを取り入れ、様々な分野の研究者のコミュニケーションが取りやすい環境とすることで、複数研究分野の融合研究の創生を促進しています。さらに、大学全体に、バイオインフォマティクスの研究と教育のためサポートとサーバーアクセスを提供します。



国際先端科学技術研究機構

本研究機構は、本学の自然科学分野の国際的な研究力の向上を図ることを目的として平成28年4月に設置された組織です。本研究機構は、本学自然科学分野の研究組織を戦略的に統括し、国際先端研究の実施、国際共同研究の推進、自然科学系研究拠点の育成及び再構築、テニュアトラックを基本とする人事制度のもとでの先導的若手研究人材の発掘育成を大きな目的としています。併せて、世界トップクラスの研究機関とも連携し、世界一線級の特徴的な研究の伸長と新たな領域の先鋭化、更に部局の枠を超えた融合研究に積極的に取り組んでいます。また「国際共同研究員制度」をはじめとする研究支援のための各種取り組みを通して、本学若手研究人材の強化を図るとともに、機構内での英語公用語化、オープンラボ、ジョイントラボにおける大学院生を含む若手研究者の国際共同研究への参画など、研究環境の国際標準化に務め、併せて国際通用性の高い研究指導を提供しています。



学内共同教育研究施設

総合情報統括センター

全学の情報通信ネットワークを有機的に結合した情報基盤の中核組織です。

ICTに関連した実践的研究を行うとともに、ICT戦略会議で決定された本学のICT関連施策を実施しています。また、情報教育・研究用の実習室を全学的に配備し、全学共通基礎科目である「情報基礎」等を実施担当しています。

五高記念館

五高記念館は第五高等学校の本館及び隣接する化学実験場を活用した大学博物館です。建物は国の重要文化財指定を受けています。本館の内部は第五高等学校に関するさまざまな資料を展示するとともに、講演会や講座などを実施しています。平成22年12月には、博物館相当施設の指定を受け、学芸員養成課程の実習や、博物館に関するレファレンスサービスも行っており、本学における生涯学習の拠点施設の一つとなっています。



グローバル教育カレッジ

グローバル教育カレッジは熊本大学のグローバル教育の推進支援、外国人留学生の修学・生活等支援及び地域社会のグローバル化を推進することを目的として、平成27年3月1日に設立されました。

英語による教養教育科目を提供し、地域の高等学校等の学生に対する早期グローバル教育の場を提供する『グローバル教育分野』、レベルに応じた日本語教育を提供し世界に日本を伝える『日本語教育分野』の2つの分野があります。



グローバル教育カレッジ棟

学内共同教育研究施設

永青文庫研究センター

永青文庫研究センターは、平成21年に設置された文学部附属永青文庫研究センターにおける研究・社会貢献事業の成果を踏まえて、事業展開の一層の拡充をはかるため、学内共同教育研究施設として平成29年4月に改組・設置されました。

数ある大名家資料群のうちでも質量ともに最高レベルにある「熊本大学寄託永青文庫資料」をはじめとする熊本藩関係資料を対象とした研究は、本学ならではの特色ある研究・社会貢献のための重点領域です。本センターは、永青文庫資料等の総合的な研究を通じて、当該資料群に立脚した拠点的研究を組織し、かつ文化行政機関等との連携によって研究成果を地域社会に還元するとともに、人文社会科学分野を中心とした研究及び文化振興の発展に寄与する人材の育成を推進しています。



くまもと水循環・減災研究教育センター

本センターは、「水循環」と「減災」に関わる教員で構成されており、複合学問領域からなる研究教育機能を備え、分野横断型研究の拡充と深化、社会貢献・社会実装を見据えた教育を展開することを目指しています。

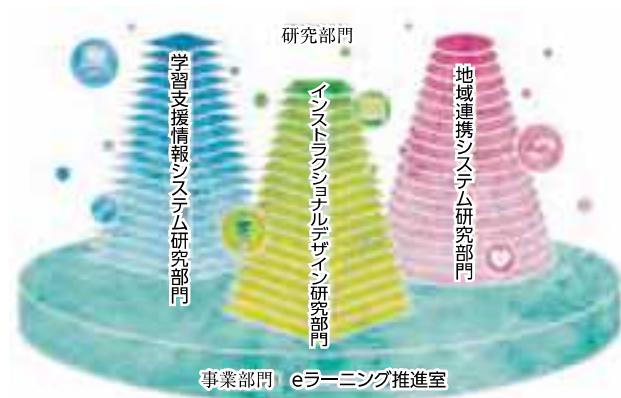
熊本の特徴や地域課題を踏まえた地下水循環・沿岸環境・減災・復興まちづくりの研究を総合的かつ実践的に推進していくために、本センターには、地下水循環部門、沿岸環境部門、減災型社会システム部門、地域デザイン部門の4部門が配置されています。これらの部門間の連携を図るとともに、国内外の研究機関、行政機関、民間団体等とも連携し、熊本大学の情報収集・発信機能とシンクタンク機能を強化していきます。本センターは、得られた学術的知見を活用して学生及び社会人の人材育成を行うとともに、さらにその成果を、アジア・モンスーン地域を含めた国内外に発信、展開し、この活動を通じて熊本創生に貢献することを目標とっています。



教授システム学研究センター

教授システム学研究センターは教授システム学の世界的研究拠点を目指す3つの研究部門と事業部門であるeラーニング推進室から構成されています。本センターは実践的フィールドを学内外に有し、高等教育や職業人教育を対象とした研究を展開していることが特徴です。

日本初の教授システム学研究拠点として「教授システム学、インストラクショナルデザインなら熊本大学」というイメージを発展的に具現化し、国内外の研究拠点との連携を進め、企業・高等教育機関などの連携研究組織及び本学教授システム学専攻修了生などからなる連携研究員との共同研究を通じて、教授システム学を発展させ、社会に貢献します。



先進マグネシウム国際研究センター

平成23年12月に設置された先進マグネシウム国際研究センターには、世界トップクラスのマグネシウム合金専用の最新鋭製造・加工設備や分析機器が整備されています。合金設計、合金評価、生体機能評価、形質制御、構造体化の5つの研究分野からなるモノづくりの川上から川下まで一貫した研究体制によって、KUMADA/マグネシウム合金をはじめとする先進マグネシウム合金について基礎と応用の両面から研究を行っています。また、大学院教育も含めた人材育成、地域貢献も含めた産官学連携、東アジアから世界展開を目指した国際連携も進めており、国際的な中核的研究センターとして、世界の研究をリードしています。



2 教育研究等

学内共同教育研究施設

生命資源研究・支援センター

平成15年度に設置された生命資源研究・支援センターは、熊本大学における遺伝子改变動物などの実験動物の作製、開発、保存、供給、表現型解析、動物実験、遺伝子実験、アイソトープ実験、マウスを中心としたバイオリソースに関するデータベースの構築・解析等の研究を推進し、並びに関連する生命科学分野の研究支援、教育を担っております。

センターに属する教員は、実験動物分野、資源開発分野、RI実験分野、疾患モデル分野、発生遺伝分野、ゲノム機能分野、分子血管制御分野、及び疾患工ピゲノム制御分野に所属して精力的に研究活動を行っており、並行して支援、教育活動を通して動物資源開発研究施設(CARD)、遺伝子実験施設(GTC)、アイソトープ総合施設(RIC)、本荘RI施設、黒髪RI施設、大江RI施設及び熊本マウスクリニック(KMC)の管理運営を担当しています。



環境安全センター

環境安全センターは、平成18年4月1日に、本学の安全管理と環境保全に係る教育研究組織として設置されました。さらに大学における安全や環境の分野に関するリスクが複雑化してきたことを受け、平成29年7月1日に、業務の専門化を図るために、安全部門と環境部門を設置しました。現在は教育・研究及び支援・啓発を通じて、大学における安全管理、化学物質管理、環境管理、廃棄物管理を支援する組織に発展しました。またセンター長(併任)、専任教員、兼務教員、事務職員(併任)、技術職員(併任)による組織であり、教職員協働でセンター業務を行っています。センター内には分析室や実験室があり、学内の作業環境測定や簡単な環境測定が行えます。

保健センター

黒髪北キャンパスの赤門と附属図書館の間に位置する、学生と職員の福利厚生のための施設です。医師3名、看護師3名、臨床心理士1名が常勤し、プライバシーには十分配慮した上で、学生と教職員の健康問題および各種相談に無料で応じています。また、薬学部と医学部のキャンパスでも、看護師による健康相談室や臨床心理士による「ここでの健康相談」を開設しています。



障がい学生支援室

障がい学生支援室は、障害者差別解消法の施行(平成28年4月)にあたり平成27年11月1日に設置されました。障がい学生の修学支援体制を強化し円滑な修学に寄与するため、障がいを有する学生に対して、修学に必要な配慮や支援が提供されるための調整を行っています。また、障がいの有無に關係なく、支援を行っています。スタッフは、医師2名(保健センター兼任)、臨床心理士1名、キャンパスソーシャルワーカー1名、事務職員1名、合計5名です。



エイズ学研究センター

エイズ学研究センターは、日本の大学では唯一のエイズ専門のセンターとして平成9年の設立以来、生命科学研究部のエイズ研究分野や、東京の国立国際医療研究センター、国立感染症研究所と連携をとりながら、エイズ撲滅を目指して最先端の研究を行っています。また多数の海外の研究機関とエイズに関する国際共同研究を進めています。特に、HIV感染症での免疫を中心とした研究と新薬の開発に焦点を絞り、新たな治療法や予防法の開発を目指して、エイズとの戦いを続けています。



埋蔵文化財調査センター

本学が市内に擁する8つのキャンパスは、縄文時代から近代にかけての県下でも有数の遺跡内に立地しています(黒髪町遺跡群、本庄遺跡、大江遺跡群など)。このため、キャンパス内の施設整備(建物の建築・改修、ライフラインの整備等)で地下を掘削する際、遺跡の破壊が避けられない場合には、遺跡の保存のため、発掘調査を行っています。

平成6年に埋蔵文化財調査室として発足し、出土した埋蔵文化財(遺物・遺構)を保存・活用することにより、本学の教育に貢献する目的で、平成23年10月に学内共同教育研究施設として本センターに改組しました。年報・発掘調査報告書を作成し、調査成果を考古学研究の基礎資料として情報公開するとともに、展示や各種行事を通じて、学内外への普及啓発に努めています。



文書館

文書館は、本学固有の歴史に関する資料並びに文化的価値を有する資料の収集、管理、公開を目的として、平成28年4月1日に設置されました。主な業務としては、本学の歴史や大学史関係資料及び熊本地震後に散逸の恐れのある貴重な文書や資料の収集、管理、目録の作成と公開、それらの資料の展示があげられます。



学外オフィス

【国内】

熊本大学東京オフィス

開 設 平成16年4月

業務内容 ①本学の教育研究活動の情報発信 ②入試情報の発信及び学生の就職活動支援
 ③同窓会組織との連携活動 ④各種セミナー及び会議等の開催
 ⑤産学連携の支援

郵便番号 〒108-0023

住 所 東京都港区芝浦3-3-6 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター4階407号室

TEL・FAX 03-5440-9093

E-mail kuma-u.tokyo@cictkyo.jp

開館時間 平日10:00~17:00

休 館 日 土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、東京工業大学が定める休館日



熊本大学関西オフィス

開 設 平成23年12月

業務内容 ①本学の教育研究活動の情報発信 ②入試情報の発信及び学生の就職活動支援
 ③同窓会組織との連携活動 ④各種セミナー及び会議等の開催 ⑤産学連携の支援

郵便番号 〒530-0001

住 所 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル6階608-2号室

TEL・FAX 06-4256-8153

E-mail kansai-office@jimu.kumamoto-u.ac.jp

開館時間 平日10:00~17:00

休 館 日 土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）



熊本大学関西リエゾンオフィス

開 設 平成21年10月

業務内容 ①企業訪問等による産学連携促進及び技術移転活動
 ②技術相談及び共同研究打合せ ③研究シーズ等の常設展示及び広報活動
 ④熊本大学案内、入試情報等の周知及び就職支援等
 ⑤同窓会組織等との連携活動 ⑥各種セミナー及び会議等の開催

郵便番号 〒577-0011

住 所 大阪府東大阪市荒本北1-4-1 クリエイション・コア東大阪南館 2203室

E-mail sangaku-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp



【国外】

熊本大学韓国KAISTオフィス

開 設 平成20年9月

業務内容 ①学術協力の推進 ②両校合同研究シンポジウム開催支援
 ③大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援

郵便番号 〒305-701

住 所 291 Daehak-ro(373-1 Guseong-dong), Yuseong-gu, Daejeon, Korea
 (韓国科学技術院 (KAIST) Biomedical Research Center内)

熊本大学（駐山東大学）国際産学連携サテライトオフィス

開 設 平成22年3月

業務内容 ①産学連携活動の促進 ②学術交流の推進
 ③大学情報の発信 ④中国における本学の活動拠点

郵便番号 〒250100

住 所 中華人民共和国 濮阳市山大南路27号 山東大学（国際事務部）内

E-mail ipo@sdu.edu.cn



熊本大学インドネシアITSオフィス

開 設 平成22年4月

業務内容 ①交流協定校等との学生交流・学術交流の促進
 ②留学生の開拓及び留学予定者に対する渡航前準備の支援 ③産学官国際連携活動の促進
 ④大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援 ⑤同窓会の支援拠点

郵便番号 〒60111

住 所 Gedung Pasca Sarjana Lantai 1

Kampus ITS Nopember Sukolilo-Surabaya Jawa Timur, Indonesia

T E L +62-31-596-6985 (英語対応のみ)

F A X +62-31-596-6986 (英語対応のみ)

E-mail mia.hernawati.sby@gmail.com (英語対応のみ)



2 教育研究等

学外オフィス

熊本大学大連オフィス

開 設 平成23年3月

業務内容 ①大連理工大学及び中国北部の交流協定校等の学生及び教職員への日本及び熊本大学に関する情報の発信 ②中国北部の卒業生及び関係者のネットワーク形成 ③中国北部の他の交流協定校等との関係強化の取り組み ④その他中国北部での熊本大学の活動

郵便番号 〒116024

住 所 中華人民共和国 大連市甘井子区凌工路2号

TEL・FAX +86-411-8470-6251

E-mail qiaosen@dlut.edu.cn



熊本大学スーダンオフィス

開 設 平成28年6月

業務内容 ①アフリカにおける研究教育交流の拠点 ②アフリカの交流協定校等の学生及び教職員への日本及び熊本大学に関する情報の発信 ③アフリカの卒業生及び関係者のネットワーク形成 ④アフリカにおける本学の活動拠点

郵便番号 Faculty of Pharmacy, University of Khartoum. P.O. Box: 1996, Al-Qasr street,

住 所 Khartoum 11111, Sudan



国立六大学長春事務所

開 設 平成26年11月

業務内容 国立六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)の共同事務所として開設

①中国東北部の学生及び教職員への日本及び国立六大学に関する情報の発信
②中国東北部の卒業生及び関係者のネットワーク形成
③中国東北部の交流協定校等との関係強化の取り組み
④その他中国東北部での国立六大学の活動

郵便番号 郵便番号: 〒130117

住 所 住 所: 中華人民共和国 長春市東北師範大学淨月校区

T E L +86-155-4328-8200



国立六大学欧州事務所

開 設 平成28年8月

業務内容 国立六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)の共同事務所として開設

①日蘭の学術的・文化的結びつきに関する情報の発信
②オランダ及びEU圏の大学間ネットワークや国際共同教育プラットフォームとの連携推進
③現地大学等に関する情報収集
④現地大学等の学生及び教職員への日本及び国立六大学に関する情報の発信
⑤国立六大学共同プログラムの実施・運営

住 所 SieboldHuis 5th floor, Rapenburg 19, 2311 GE Leiden, The Netherlands



国立六大学バンコク事務所

開 設 平成29年7月

業務内容 国立六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)の共同事務所として開設

①タイ及びASEAN諸国における学生交流プログラムの共同実施
②タイ及びASEAN諸国の学生及び教職員への日本及び国立六大学に関する情報の発信
③タイ及びASEAN諸国における産学官国際連携活動の促進
④ASEAN University Network (AUN) 加盟大学との交流促進

住 所 KMUTT Knowledge Exchange for Innovation Center (KX) 12F
110/1 Krung Thonburi Road, Bangkok 10600 THAILAND



寄附講座等

奨学を目的とする民間等からの寄附により設置・運営し、教育研究の充実をはかります。

部局名	寄附講座名称	設置期間	寄附者
大学院生命科学研究部	免疫・アレルギー・血管病態学寄附講座	平成23年4月1日～平成33年3月31日	医療法人 博麗会 のぐち皮ふ科 医療法人 信岡会 菊池病院 医療法人 春水会 山鹿中央病院 医療法人 岡山会 九州記念病院 医療法人 愛生会 外山病院 医療法人社団 仁誠会 医療法人 中下会 内科熊本クリニック 医療法人社団 東陽会 東病院 医療法人社団 藤栄会 すえふじ医院 医療法人メディカルスクエア九品寺クリニック いしら皮膚外科クリニック 正晃テック株式会社 医療法人 阿蘇久仁会 寺崎内科胃腸科クリニック たぶち内科循環器科 医療法人 天野会 天野整形外科あまの皮ふ科 医療法人 香和会 城南病院 まるお皮ふ科 医療法人 藤風会 くどう皮ふ科医院 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン ニュー・チャイナ・オーチュン・ギャザリング投資株式会社
大学院生命科学研究部	画像診断解析学寄附講座	平成15年10月1日～平成31年3月31日	一般社団法人 菊池都市医師会
大学院生命科学研究部	アジア神経難病研究・診療講座	平成29年4月1日～平成32年3月31日	医療法人社団 陣内会 陣内病院
医学部附属病院	循環器予防医学先端医療寄附講座	平成22年4月1日～平成31年3月31日	医療法人社団 愛育会 福田病院
医学部附属病院	新生児学寄附講座	平成21年1月1日～平成30年12月31日	社会医療法人 北斗 北斗病院
医学部附属病院	機能神経外科先端医療寄附講座	平成20年7月1日～平成32年3月31日	アイティー・アイ株式会社 株式会社フィースワン ジーエム・メディカル株式会社 日本ライフライン株式会社 アボット パスキュラー ジャパン株式会社 医療法人社団 寿量会 熊本機能病院 テルモ株式会社 株式会社カネマデメイツクス セント・ジード・メディカル株式会社 ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 社会医療法人社団 熊本丸田会 熊本整形外科病院 日本メドトロニック株式会社 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 マック・ジャパン株式会社 ゲーティンググループ・ジャパン株式会社 株式会社フィリップス・ジャパン カーティナルヘルスジャパン合同会社 田辺三菱薬品株式会社 ニプロ株式会社
医学部附属病院	心血管治療先端医療寄附講座	平成20年4月1日～平成35年3月31日	ボストン・サイエンティフィック・ジャパン株式会社 フクダ電子株式会社 セント・ジード・メディカル株式会社 日本ライフライン株式会社 日本メドトロニック株式会社 株式会社フィースワン 医療法人 田中会 武蔵ヶ丘病院 医療法人社団 鶴友会 医療法人社団 仁誠会 株式会社メディカル・アプライアンス バイオトロニックジャパン株式会社 株式会社グッドマン 日本光電工業株式会社 医療法人社団 イチイ会 小沢医院 医療法人 永田会 東熊本病院 日本ガイダンスト株式会社 株式会社ゲッツプラザーズ 株式会社ネオテック 医療法人 東陽会 東病院
医学部附属病院	不整脈先端医療寄附講座	平成19年4月1日～平成34年3月31日	一般財団法人 化学及血清療法研究所 医療法人財団 聖十字会 熊本県
医学部附属病院	分子神経治療学寄附講座	平成25年4月1日～平成33年3月31日	公立玉名中央病院企業団
医学部附属病院	脳血管障害先端医療寄附講座	平成26年4月1日～平成31年3月31日	株式会社ヤカルト本社
医学部附属病院	専門医療実践学寄附講座	平成28年4月1日～平成31年3月31日	中外製薬株式会社
医学部附属病院	地域医療・総合診療実践学寄附講座	平成28年4月1日～平成31年3月31日	医療法人社団 鶴田病院 医療法人財団 聖十字会 西日本病院 医療法人社団 東陽会 東病院
医学部附属病院	消化器癌先端治療開発学寄附講座	平成29年10月1日～平成32年9月30日	医療法人 蘇春堂
医学部附属病院	次世代外科治療開発学寄附講座	平成29年12月 1日～平成32年11月30日	小野薬品工業株式会社
大学院先端科学研究部	分子農学寄附研究分野	平成30年 2月 1日～平成35年 1月31日	河合興産株式会社

共同研究講座等

民間機関等からの共同研究経費を有効に活用して、本学の自主性及び主体性の下に設置運営し、本学の教育研究の進展及び充実をはかります。
(H30.4.1現在)

部局名	共同研究講座名称	設置期間	共同研究相手先
大学院生命科学研究部	画像動態応用医学共同研究講座	平成26年4月1日～平成31年3月31日	東芝メディカルシステムズ株式会社
大学院生命科学研究部	天然物創薬共同研究講座	平成29年7月1日～平成32年6月30日	平田機工株式会社
薬学部	えがおー熊本大学薬学部機能性食品共同研究講座	平成27年7月1日～平成31年6月30日	株式会社えがおー
薬学部	アグロメディシン開発共同研究講座	平成28年7月1日～平成31年6月30日	河合興産株式会社
薬学部	再春館・自然×サイエンス共同研究講座	平成29年4月1日～平成32年3月31日	株式会社再春館製薬所
薬学部	大正製薬・グローバル伝統医薬資源開発講座	平成30年1月1日～平成32年12月31日	大正製薬株式会社
大学院先端科学研究部	あつまる新シルク事業開発共同研究分野	平成29年11月1日～平成34年10月31日	株式会社あつまるホールディングス
先進マグネシウム国際研究センター	住友電工マグネシウム合金共同研究部門	平成27年10月1日～平成30年9月30日	住友電気工業株式会社

2 教育研究等

医学部附属病院

附属病院は、診療科、薬剤部、看護部及び中央診療施設等を有し、病床数848床（一般病床798床、精神病床50床）で、1日平均の外来患者数は1,400人を超えています。

現在、21世紀の医学、医療を担うに足る附属病院の完成を目指して本院の再開発計画を進めており、平成26年9月に外来診療棟が開院するなど、先進医療と全人的・包括的医療を兼ね備えた総合診療体制の確立を推進しています。その一環として、平成16年1月から診療内容も臓器別・系統別診療体制へ移行したほか、都道府県がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院等の指定も受けており、県内唯一の特定機能病院として、熊本県の地域医療水準の向上にも取り組んでおります。

理念

本院は、患者本位の医療の実践、医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。

基本方針

- 患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
- 安全安心で質の高い医療サービスの提供
- 優れた医療人の育成
- 先進医療の開発と推進

診療部

●内科部門

<診療科名>
呼吸器内科／消化器内科／血液内科
膠原病内科／腎臓内科
糖尿病・代謝・内分泌内科／循環器内科
神経内科

●外科部門

<診療科名>
心臓血管外科／呼吸器外科／消化器外科
乳腺・内分泌外科／小児外科／移植外科
泌尿器科／婦人科

●成育医療部門

<診療科名>
小児科／産科

●感覚・運動部門

<診療科名>
整形外科／皮膚科／形成・再建科
眼科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科
歯科口腔外科

●放射線診療部門

<診療科名>
画像診断・治療科／放射線治療科

●脳・神経・精神部門

<診療科名>
神経精神科／脳神経外科／麻酔科

中央診療施設等

中央検査部
中央手術部
中央放射線部
集中治療部
中央材料部
リハビリテーション部

病理部
輸血・細胞治療部
救急・総合診療部
感染免疫診療部
血液浄化療法部
総合臨床研修センター

光学医療診療部
高度医療開発センター
地域医療連携センター
総合周産期母子医療センター
がんセンター
ME機器センター

地域医療支援センター
移植医療センター

総合臨床研究部 **医療情報経営企画部** **薬剤部** **看護部** **医療技術部** **栄養管理部** **医療の質・安全管理部** **感染制御部** **事務部**



外来診療棟



各診療科等の実習に対応できる
臨床シミュレーション



手術支援ロボット

附属図書館

附属図書館は、中央館・医学系分館・薬学部分館で構成され、熊本大学の教育研究活動を支える学術情報基盤の1つとして活動しています。ネットワークを通じてサービス（電子ジャーナル、図書発注、文献複写依頼等）を提供しており、いつでも利用できる図書館となっています。また、一般市民への貸出、熊本大学学術リポジトリによる研究成果のインターネット公開、30年以上の実績をもつ貴重資料展などを実施しており、地域社会に対する学術情報提供の拠点として機能しています。

蔵書類

(H30.3.31現在)

		単位	中　央　館	医学系分館	薬学部分館	合　計
図書	和　書(蔵書数)	冊	692,100	65,616	15,919	773,635
	洋　書(蔵書数)		351,223	107,662	23,455	482,340
合　計			1,043,323	173,278	39,374	1,255,975
雑誌	和　書	種類	10,894	2,577	588	14,059
	洋　書		4,048	2,715	444	7,207
合　計			14,942	5,292	1,032	21,266
リポジトリ登録件数		件	-	-	-	14,227



(中央館)外観

利用状況

(H29年度)

		単位	中　央　館	医学系分館	薬学部分館	合　計
入　館　者　数	人	375,622	104,081	33,621	513,324	
貸　出　冊　数	冊	57,001	6,191	395	63,587	
文献複写数 (相互利用)	受付	件	806	1,132	77	2,015
	依頼		1,056	738	44	1,838
リポジトリダウンロード件数	件	-	-	-	447,323	
座　席　数	席	660	226	58	944	



(中央館)館内

貴重資料

文庫名	内　容
阿蘇家文書	阿蘇家旧蔵の中世以降の古文書類(国指定重要文化財)
細川家北岡文庫	永青文庫・肥後藩政資料(国指定重要文化財を含む)<寄託資料>
時習館文庫	旧藩校時習館の典籍類
松井文庫	旧松井男爵家旧蔵の古文書典籍類
菅野文庫	菅野は政氏旧蔵の幕末期の蘭書
落合文庫	落合東郭氏旧蔵の漢籍類
柚原文庫	柚原益樹氏旧蔵の支那哲学関係漢籍類
ポーター文庫	ウィリアム・ポーター氏五高在職当時の所蔵書
八雲文庫	小泉八雲に関する作品・伝記・評論の集積
仲光家文庫	旧熊本藩士、仲光家に伝わった古文書・典籍類
横井小楠文書	横井小楠に関係する古文書・古記録類 <寄託資料>



八雲文庫「ちりめん本」



永青文庫寄託「源氏物語」

全国共同利用大型資料（人文・社会科学系）

資料名	内　容
英　國　議　会　資　料	IPU BLUE BOOKS. 1,000Vols. 19世紀英国議会報告書の中から、主要な社会・政治的資料を1,000巻にまとめたもの
SYNTHÈSE LIBRARY	認識論・論理学・社会哲学とその関連領域の最新史料 135巻
民　国　二　十　年　代　中　國　大　陸　土　地　問　題　資　料	1932年に国民政府によって中央政治学校内に設置された地政学院の研究生が2年にわたって行った実地調査の報告書(全200冊)
シェイクスピア研究書コレクション	英国の文学批評家であるフランク・カーモード教授旧蔵のシェイクスピア研究書コレクション 805点
少　数　民　族　と　移　出　入　民： 地球規模の現象と課題	世界の少数民族に関する民族誌、少数民族問題の社会学的研究、地球レベルでの移民と移動に関する研究及び書誌1セツ(462冊 148リール)
米　田　家　文　書	熊本藩第二家老米田家の近世初期・中期及び幕末期の文書群126点、書類約400綴(要事前申請)

3 職員・学生数等

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバージュニア・アカデミー
沿革略図

沿革略年表

役員等数・職員数

役員等数

学長	理事	監事	副学長 (教員等が兼務)
1	6	2	2

職員数

(H30.5.1現在)

区分	教員												事務・技術職員等		計												
	教授		准教授		講師		助教		助手		教諭等																
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男											
教育学部										51	33	84	51	33	84	3	3	54	33	87							
理学部																3	3	3	3	3							
薬学部	3	3	2	1	3			1	1	1	1		7	1	8	3	2	5	10	3	13						
工学部																39	3	42	39	3	42						
大学院教育学研究科	21	10	31	24	7	31		1	1				45	18	63			45	18	63							
大学院人文社会科学研究所	51	12	63	48	17	65	2	3	5			1	1	101	33	134			101	33	134						
大学院先端科学研究所	79	2	81	75	10	85	2		2	25	7	32			181	19	200			181	19	200					
大学院生命科学研究所	65	7	72	42	9	51	12	3	15	74	24	98			193	43	236	5	4	9	198	47	245				
発生医学研究所	8		8	4		4	1		1	4	4	8			17	4	21	7	1	8	24	5	29				
パルスパワー科学研究所	7		7	4	1	5			2	2				13	1	14	1		1	14	1	15					
大学院先導機構				8	1	9			5	1	6			13	2	15			13	2	15						
熊本創生推進機構	2		2	5	2	7								7	2	9	2	1	3	9	3	12					
大学教育統括管理運営機構	1		1	2	1	3								3	1	4			3	1	4						
総合情報統括センター	4		4	1		1			1	1				6		6	3		3	9		9					
グローバル教育カレッジ	1	1	2	1		1	1	2	3					3	3	6			3	3		6					
五高記念館					1	1								1	1				1		1						
永青文庫研究センター	1		1	1		1								2		2			2		2						
教授システム学研究センター	3		3	3	1	4								6	1	7			6	1	7						
くまもと水循環・減災研究教育センター	4		4	6		6			1	1				11		11	1		1	12		12					
先進マグネシウム国際研究センター	2		2	1		1								3		3			3		3						
生命資源研究・支援センター	2	1	3	2		2	2		2	4	1	5			10	2	12	3	4	7	13	6	19				
エイズ学研究センター	6		6	1		1				1	1				7	1	8			7	1	8					
環境安全センター					1	1								1	1	1			1		1						
埋蔵文化財調査センター						1	1			1	1				1	1	2			1	1	2					
保健センター	1		1	1		1				1	1				2	1	3		3	3	2	4	6				
医学部附属病院	4		4	7	1	8	31	1	32	52	11	63			94	13	107	170	926	1,096	264	939	1,203				
事務部門																253	174	427	253	174	427						
合計	265	33	298	240	52	292	51	10	61	170	50	220	1	1	2	51	33	84	778	179	957	493	1,118	1,611	1,271	1,297	2,568

※育児休業者等を含む。

※再雇用職員及び個別契約職員を除く。

学生・生徒・児童及び幼児数

学部

(H30.5.1現在)

学科・課程	入学定員	総定員	現員																				
			1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
文学部	170	700	59	132	191	55	128	183	49	136	185	71	146	217							234	542	776
総合人間学科	55	220	22	39	61	18	40	58	17	46	63	23	43	66							80	168	248
歴史学科	35	140	15	24	39	20	19	39	20	17	37	24	20	44							79	80	159
文学科	50	200	16	38	54	11	37	48	9	44	53	17	48	65							53	167	220
コミュニケーション情報学科	30	120	6	21	27	4	24	28	3	29	32	7	35	42							20	109	129
(学部共通)		20																					
※グローバルリーダーコース	(10)	(20)	0	10	10	2	8	10													2	18	20
教育学部	230	1,040	109	144	253	101	147	248	150	174	324	153	182	335							513	647	1,160
小学校教員養成課程	110	440	59	58	117	50	64	114	68	55	123	66	59	125							243	236	479
中学校教員養成課程	70	280	44	37	81	44	36	80	45	39	84	45	40	85							178	152	330
特別支援教育教員養成課程	20	80	6	19	25	6	15	21	4	16	20	6	18	24							22	68	90
養護教諭養成課程	30	120	0	30	30	1	32	33	0	32	32	0	34	34							1	128	129
地域共生社会課程	—	40	0	0	0	0	0	0	9	13	22	9	14	23							18	27	45
生涯スポーツ福祉課程	—	80	0	0	0	0	0	0	24	19	43	27	17	44							51	36	87
法学部	210	860	111	110	221	125	113	238	110	96	206	133	118	251							479	437	916
法学科	210	840	106	105	211	121	107	228	110	96	206	133	118	251							470	426	896
(学部共通)		20																					
※グローバルリーダーコース	(10)	(20)	5	5	10	4	6	10													9	11	20
理学部	200	780	150	52	202	160	56	216	155	50	205	138	49	187							603	207	810
理学科	200	780	147	47	194	157	51	208	155	50	205	138	49	187							597	197	794
※グローバルリーダーコース	(10)	(20)	3	5	8	3	5	8													6	10	16
医学部	259	1,298	123	153	276	111	161	272	106	163	269	126	162	288	74	32	106	95	35	130	635	706	1,341
医学科	115	690	92	37	129	74	39	113	79	39	118	94	40	134	74	32	106	95	35	130	508	222	730
保健学科	144	576	31	116	147	37	122	159	27	124	151	32	122	154	0	0	0	0	0	0	127	484	611
(保健学科共通)		32																					
薬学部	90	470	47	48	95	48	48	96	57	42	99	50	41	91	22	35	57	25	30	55	249	244	493
薬学科	55	330	28	29	57	23	32	55	33	29	62	24	32	56	22	35	57	25	30	55	155	187	342
創薬・生命薬科学科	35	140	19	19	38	25	16	41	24	13	37	26	9	35							94	57	151
工学部	513	2,142	434	102	536	424	108	532	482	102	584	591	105	696							1,931	417	2,348
土木建築学科	124	124	100	27	127																100	27	127
機械数理工学科	109	109	93	17	110																93	17	110
情報電気工学科	149	149	140	11	151																140	11	151
材料・応用化学科	131	131	90	43	133																90	43	133
物質生命化学科	—	240	0	0	0	44	36	80	57	26	83	54	38	92							155	100	255
マテリアル工学科	—	138	0	0	0	34	9	43	46	5	51	53	7	60							133	21	154
機械システム工学科	—	291	0	0	0	87	9	96	94	15	109	134	15	149							315	39	354
社会環境工学科	—	213	0	0	0	59	13	72	68	15	83	72	13	85							199	41	240
建築学科	—	168	0	0	0	37	20	57	43	25	68	65	18	83							145	63	208
情報電気電子工学科	—	459	0	0	0	140	11	151	162	15	177	200	13	213							502	39	541
数理工学科	—	30	0	0	0	11	2	13	12	1	13	13	1	14							36	4	40
(学部共通)		90																					
※グローバルリーダーコース	(20)	(40)	11	4	15	12	8	20													23	12	35
合計	1,672	7,290	1,033	741	1,774	1,024	761	1,785	1,109	763	1,872	1,262	803	2,065	96	67	163	120	65	185	4,644	3,200	7,844

※外国人留学生を含む。

※「グローバルリーダーコース」欄の入学定員及び総定員の()内は、各学科の入学定員及び総定員の内数。

※教育学部の地域共生社会課程及び生涯スポーツ福祉課程は平成29年度から学生募集停止。

3 職員・学生数等

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバージニア
沿革略図

沿革略年表

学生・生徒・児童及び幼児数

大学院(修士課程・博士前期課程)

(H30.5.1現在)

学科・課程	入学定員	総定員	現 員								
			1年次			2年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
教育学研究科(修士)	30	60	13	16	29	18	19	37	31	35	66
学校教育実践専攻	7	14	0	6	6	6	6	12	6	12	18
教科教育実践専攻	23	46	13	10	23	12	13	25	25	23	48
社会文化科学研究科(博士前期)	76	146	26	22	48	44	70	114	70	92	162
公共政策学専攻	13	23	1	1	2	6	3	9	7	4	11
法学専攻	12	21	3	0	3	7	5	12	10	5	15
現代社会人間学専攻	18	36	5	9	14	7	19	26	12	28	40
文化学専攻	18	36	7	5	12	6	20	26	13	25	38
教授システム学専攻	15	30	10	7	17	18	23	41	28	30	58
自然科学研究科(博士前期)	0	392	12	3	15	375	61	436	387	64	451
理学専攻	—	85	0	0	0	55	18	73	55	18	73
数学専攻	—	15	0	0	0	14	4	18	14	4	18
複合新領域科学専攻	—	12	0	0	0	7	1	8	7	1	8
物質生命化学専攻	—	43	0	0	0	36	14	50	36	14	50
マテリアル工学専攻	—	25	0	0	0	27	2	29	27	2	29
機械システム工学専攻	—	57	4	0	4	65	2	67	69	2	71
情報電気電子工学専攻	—	81	4	1	5	110	6	116	114	7	121
社会環境工学専攻	—	38	2	2	4	32	2	34	34	4	38
建築学専攻	—	36	2	0	2	29	12	41	31	12	43
自然科学研究科(博士前期)	443	443	387	67	454				387	67	454
理学専攻	110	110	70	18	88				70	18	88
土木建築学専攻	75	75	66	18	84				66	18	84
機械数理工学専攻	65	65	66	4	70				66	4	70
情報電気工学専攻	103	103	107	7	114				107	7	114
材料・応用化学専攻	90	90	78	20	98				78	20	98
医学教育部(修士)	20	40	7	10	17	5	7	12	12	17	29
医科学専攻	20	40	7	10	17	5	7	12	12	17	29
保健学教育部(博士前期)	24	48	16	5	21	12	19	31	28	24	52
保健学専攻	24	48	16	5	21	12	19	31	28	24	52
薬学教育部(博士前期)	35	70	19	10	29	22	11	33	41	21	62
創薬・生命薬科学専攻	35	70	19	10	29	22	11	33	41	21	62
合 計	628	1,199	480	133	613	476	187	663	956	320	1,276

※ 外国人留学生を含む。

学生・生徒・児童及び幼児数

大学院(博士課程・博士後期課程)

(H30.5.1現在)

※外国人留学生を含む。

教育学研究科(教職大学院の課程)

(H30.5.1現在)

名 称	入学定員	総定員	現 員								
			1年次			2年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
教職実践開発専攻	15	30	12	3	15	7	6	13	19	9	28

法曹養成研究科(法科大学院の課程)

(H30.5.1現在)

名 称	入学定員	総定員	現 員											
			1年次			2年次			3年次			計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
法曹養成専攻	—	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	4	0	4

※平成28年度から学生募集停止

專攻科(修業年限1年)

(H30.5.1現在)

専攻科(修業年限1年)		(H30.5.1現在)		
名 称	入学定員	現 員		
		男	女	計
特別支援教育特別專攻科	20	7	10	17

別科(修業年限1年)

(H30.5.1現在)

別添(修業年限1年)		(H30.5.1現在)		
名 称	入学定員	現 員		
		男	女	計
看護教諭特別別科	40	0	41	41

教育学部附属学校

(U20 E 1項左)

教育子部門別属性				(H30.5.1現在)																					
区分	入学(園)定員	総定員	学級数	現 員																					
				1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次						
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
小学校	105	630	18	54	54	108	54	54	108	54	54	108	54	54	108	54	54	108	54	54	108	324	324	648	
中学校	160	480	12	80	80	160	80	80	160	79	80	159										239	240	479	
特別支援学校	小学部	※1 6	18	複式3	2	1	3	2	1	3	2	0	2	2	1	3	3	0	3	2	1	3	13	4	17
	中学部	※1 6	18		3	3	6	3	3	6	4	2	6										10	8	18
	高等部	※1 8	24		3	5	4	9	6	2	8	6	3	9									17	9	26
幼稚園	3年保育	※2 30	130	5	3歳児			4歳児			5歳児											72	60	132	
	2年保育	※2 25			19	11	30	25	29	54	28	20	48												

※1 特別支援学校については標準学級定員

※1 特別支援学校については標準字級定員。
※2 平成28年度までの入園定員は3年保育20人、2年保育50人。

3 職員・学生数等

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバーシティミラージュ
沿革略図

沿革略図

沿革略年表

入学状況

学部

(平成30年度)

区分	入学定員	入学志願者			入学者			外国人留学生入試(内数)					
								入学志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
文学部	170	248	395	643	53	127	180	13	4	17	2	0	2
教育学部	230	260	364	624	109	140	249	1	0	1	1	0	1
法学部	210	389	273	662	111	110	221	2	2	4	1	0	1
理学部	200	492	194	686	150	53	203	2	0	2	0	0	0
医学部	医学科	115	267	143	410	79	36	115	1	0	1	0	0
	保健学科	144	90	293	383	31	116	147	1	2	3	0	0
薬学部	90	181	220	401	44	46	90	3	1	4	0	0	0
工学部	513	998	213	1,211	431	102	533	14	3	17	4	0	4
合計	1,672	2,925	2,095	5,020	1,008	730	1,738	37	12	49	8	0	8

※マレーシア政府派遣留学生4名(外数)

※国費留学生1名(外数)

大学院

(平成30年度)

区分	入学定員	入学志願者			入学者			社会人入試(内数)			外国人留学生入試(内数)		
								入学志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
教育学研究科	修士	30	13 (0)	19 (3)	32 (3)	13 (0)	16 (3)	29 (3)	-	-	-	-	-
	教職大学院		15 (5)	4 (1)	19 (6)	12 (5)	3 (1)	15 (6)	-	-	-	-	-
社会文化科学研究所	前期	76	42	27	69	26	22	48	22	13	35	15	10
	後期	15	5	9	14	4	6	10	4	5	9	3	3
自然科学研究科	前期	392	464	73	537	387	67	454	1	0	1	1	0
	後期	62	22	3	25	22	3	25	5	1	6	5	1
医学教育部	修士	20	7	13	20	7	10	17	1	2	3	1	2
	博士	88	53	19	72	49	19	68	23	7	30	22	7
保健学教育部	前期	24	16	7	23	16	5	21	-	-	-	0	0
	後期	6	2	5	7	2	4	6	-	-	-	0	0
薬学教育部	前期	35	23	12	35	19	10	29	0	0	0	0	0
	後期	10	6	4	10	5	4	9	0	1	1	0	0
	博士	8	5	1	6	5	1	6	0	0	0	0	0
合計		781	673	196	869	567	170	737	56	29	85	47	24

※教育学研究科の()内は、現職教員で内数。

専攻科

(平成30年度)

区分	入学定員	入学志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
特別支援教育	20	8 (3)	12 (6)	20 (9)	7 (3)	10 (6)	17 (9)
特別専攻科							

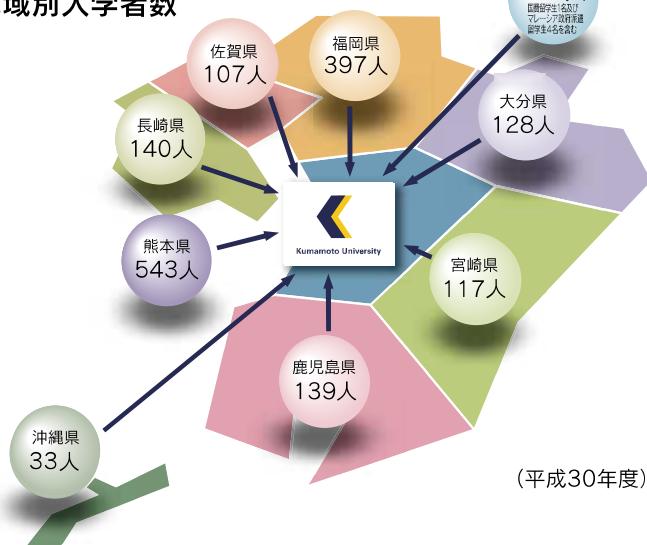
※()内は現職教員で内数。

別科

(平成30年度)

区分	入学定員	入学志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
養護教諭	40	0	72	72	0	41	41
特別別科							

地域別入学者数



卒業後の状況

(H30.5.1現在)

区分	学 部																				
	文学部			教育学部			法学部			理学部			医学部			薬学部			工学部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
卒業者数	47	128	175	132	164	296	105	92	197	133	45	178	109	134	243	49	44	93	488	90	578 1,063 697 1,760
進学者数	4	3	7	17	12	29	3	3	6	71	24	95	11	6	17	23	14	37	316	41	357 445 103 548
就職者数	32	113	145	98	137	235	88	80	168	49	19	68	21	91	112	17	26	43	156	48	204 461 514 975
農・林・漁業・鉱業																			2	2	2
建設業	1	6	7	1	1	2	1		1	4		4							25	9	34 32 16 48
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料		2	2					1	1		1	1						2	2	2 4 6
	織維工業		1	1					1	1											2 2
	印刷・同関連業	1	2	3															1	1	2 3 5
	化学工業・医薬品・石油・石炭製品		3	3		1	1	2	1	3	4	1	5				1	1	2	1	1 7 8 15
	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品		3	3				2		2									6	6	8 3 11
	はん用・生産用・業務用機械器具								1	1								9	9	9 1 10	
	電子部品・デバイス・電子回路									3		3						17	2	19 20 2 22	
	電気・情報通信機械器具	1	1	2							1	1						6	6	7 2 9	
	輸送用機械器具		1	1			3		3									7	6	13 10 7 17	
	その他	2	2		1	1			1		1							3	3	4 3 7	
	電気・ガス・熱供給・水道業						1		1									3	4	7 4 4 8	
	情報通信業	4	14	18		2	2	8	4	12	4	2	6					16	4	20 32 26 58	
	運輸業、郵便業	3	3	6	1		1	7		7	1		1					4	4	16 3 19	
	卸売業・小売業	7	15	22	2	4	6	4	7	11	4	1	5				5	8	13 1 1	1 23 35 58	
	金融業・保険業	2	12	14	7	7	14	3	16	19	4	1	5					2	3	5 18 39 57	
	不動産業・物品賃貸業	1	5	6		2	2	2	2	4	3		3					3	1	4 9 10 19	
	学術研究・専門・技術サービス業	2	6	8	1	1	2	5	4	9	5	1	6				2	2	4 12 4 16 27 18 45		
	宿泊業・飲食サービス業	1		1		1	1											2	2	3 1 4 4	
	生活関連サービス業、娯楽業	2	1	3		2	2		1	1								1	1	3 4 7	
	教育・学習支援業	2	7	9	66	91	157	2	3	5	6	7	13					1	1	77 108 185	
	医療・福祉	1	5	6	1	1	2	1	4	5	1		1	21	91	112	9	15	24	2 2 34 118 152	
	複合サービス事業		2	2		1	1	2	2	4									2 5 7		
	サービス業	1	3	4	1	3	4		1	1	4		4					5	5	11 7 18	
公務	国家公務	1	2	3	1	6	7	16	10	26	1	3	4					5	1	6 24 22 46	
	地方公務	2	17	19	17	12	29	27	22	49	2	1	3					22	10	32 70 62 132	
	上記以外					1	1	2		2	2		2					1	1	5 1 6	
	その他	11	12	23	17	15	32	14	9	23	13	2	15	77 (71)	37 (29)	114 (100)	9	4	13	16 1 17 157 (71) 80 (29) 237 (100)	

※卒業者数は平成29年度間(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)に卒業した者を示す。「その他」欄の医学部の()内は、臨床研修医を示す。

3 職員・学生数等

修了後の状況

(H30.5.1現在)

区分	大学院																																				
	(修士) 教育学研究科			(博士前期) 社会文化科学研究科			(博士前期) 自然科学研究科			(修士) 医学教育部			(博士前期) 保健学教育部			(博士前期) 薬学教育部			(博士後期) 社会文化科学研究科			(博士後期) 自然科学研究科			(博士) 医学教育部			(博士後期) 保健学教育部			(博士後期) 薬学教育部			(博士後期) 法曹養成研究科			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
修了者数	21	22	43	15	24	39	383	58	441	7	6	13	8	10	18	20	11	31	3	5	8	47	50	22	72	5	1	6	9	3	12	5	4	9			
進学者数	1	1	2	5	5	16	2	18	2	1	3				5	3	8						1	1													
就職者数	18	19	37	15	14	29	347	53	400	2	4	6	6	9	15	15	8	23	3	4	7	27	6	33	39	17	56	5	1	6	6	1	7				
農・林・漁業・鉱業							1		1													1		1													
建設業							25	4	29													1		1													
製造業	食料品・飲料・たばこ・飼料						3	1	4						2	1	3				1		1														
	織維工業						1	1	2																												
	印刷・同関連業						1		1																												
	化学工業・医薬品・石油・石炭製品						31	14	45	1	2	3	1	1	2	9	5	14			1	1	2	2		2	1		1	1	1	2					
	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品						29	4	33																												
	はん用・生産用・業務用機械器具						1	1	28	4	32					1	1				1		1									1	1				
	電子部品・デバイス・電子回路						1	1	41	3	44											1		1													
	電気・情報通信機械器具						1		1	32	2	34										1		1													
	輸送用機械器具						35	2	37																												
	その他						9	1	10	1		1																									
電気・ガス・熱供給・水道業							11		11													1		1													
情報通信業							1	1	35	2	37	1	1	1	1	1	1	1	1		1		1														
運輸業・郵便業							2		2																												
卸売業・小売業							2	2	5	5		1		1		1		1																			
金融業・保険業							2	1	3																												
不動産業、物品貯蔵業							1	1	3	3																											
学術研究・専門・技術サービス業	1	1	2	1	3	29	5	34								1	1	2			3	3	3	2	2												
宿泊業・飲食サービス業																																					
生活関連サービス業・娯楽業																																					
教育・学習支援業	16	17	33	5	3	8	6		6						1	1				3	4	7	12	5	17	5	1	6			1		1				
医療・福祉							1	1	2		3	3	1	1	3	7	10	1	1																		
複合サービス事業							1		1																												
サービス業							1	1	5	5						1	1																				
公務	国家公務						1	1	8	8																											
	地方公務	1	2	3	2	2	4	6	5	11											3	3															
上記以外							1	1	2																												
その他	2	2	4		5	5	20	3	23	3	1	4	2	1	3						1	1	12	2	14	10	5	15				3	2	5	5	4	9

※修了者数は平成29年度間(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)に修了した者を示す。

学位授与数

(H30.3.31現在)

区分	旧制	新 制				
		課 程			論 文	
		卒業者・修了者	選及修了者	累 計	平成29年度	累 計
博士(文学)		4		74	1	20
博士(公共政策学)				22	1	4
博士(法学)				8		
博士(理学)		7	4	218		30
博士(工学)		12	1	678		110
博士(学術)		20	3	360		20
博士(医学)	1,663	44	18	2,182	7	1,006
博士(保健学)		5		12	1	1
博士(看護学)		1		3		
博士(薬学)		6		279		154
博士(薬科学)		6		31	3	9
博士(臨床薬学)				7		
博士(生命科学)				24		5
博士(健康生命科学)				2		
法務博士(専門職)		9		185		
修士(文学)		19		1,062		
修士(教育学)		43		1,222		
修士(法学)		4		468		
修士(公共政策学)		2		94		
修士(医科学)		13		307		
修士(看護学)		4		68		
修士(保健学)		14		103		
修士(薬科学)		30		196		
修士(薬学)				1,591		
修士(臨床薬学)				76		
修士(健康生命科学)		1		24		
修士(理学)		89		2,430		
修士(工学)		351		9,607		
修士(学術)		7		114		
修士(獣医学)		8		126		
合 計	1,663	699	26	21,573	13	1,359

※平成29年度中に授与した学位の数(平成29年4月1日～平成30年3月31日)。

奨学生数

(H30.3.1現在)

区分	在学生数	日本学生支援機構			各種団体 育 英 会	合 計
		一種	二種	計		
学 部	7,873	2,257	1,782	4,039	121	4,160
大学院	博士前期・修士	1,268	542	58	600	9
	博士後期・博士	732	65	6	71	0
	法曹養成研究科	12	7	3	10	0
	教 職 大 学 院	13	3	0	3	0
合 計	9,898	2,874	1,849	4,723	130	4,853

※「学部」は、特別支援教育特別専攻科及び養護教諭特別別科を含む。

4 国際交流

國際交流協定

大学間交流協定

(H30.5.1現在)

部局間交流協定

(H30.5.1現在)

国名・地域	大学名	協定締結年		
		学術交流	学生交流	就労
イ　ン　ド	インド工科大学ボンベイ校	2018		
ネ　バ　ー　ル	ボカラ大学	2010		
バンダラデシ	ダッカ大学	2000		
ミ　ヤ　ン　マ	ヤンゴン工科大学	2015	2015	
	パライン大学	2016	2016	
タ　イ	カセサート大学	1994	2012	
	コーケン大学	2004	2005	
	マヒドン大学	2013	2013	
	フラーク大学	2017	2017	
マ　レ　シ　ア	マレーシア理科大学	2012	2012	
	スマリヤ工科大学	2008	2008	
	ハンドン工科大学	2011	2011	
	ガジヤマダ大学	2013	2013	
インドネシア	アイルランガ大学	2013	2014	
	ワダナ大学	2015		
	インドネシア大学	2016	2016	
	ブライジャヤ大学	2016	2016	
フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	2002	2011	
	フィリピン大学ロスバニヨス校	2015		
	アテネオ・デ・マニラ大学	2016	2016	
韓　國	培材工業学校	1999	2000	
	東亜大学校		2005	
	韓国国情技術学院	2006	2006	
	朝鮮大學校	2009	2009	
	國立釜慶大學校	2011	2011	
	ソウル市立大学校	2011	2011	
	奎州大学校	2011	2011	
	忠武大学校	2012	2012	
	釜山大学校	2012	2012	
	全北大学校	2012	2012	
	韓南大学校	2016	2016	
ベトナム	ノイバイ国家科学大学	2007	2008	
	ホーチミン工科大学	2010	2010	
	フエ大学	2010	2010	
	ハノイ建設大学	2010	2010	
	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学	2016	2016	
	ハノイ国家大学外国语大学	2016	2016	
	貿易大学	2016	2016	
中　國	広西師範大学	2005	2005	
	同济大学	2007	2005	
	南昌大学	2006		
	天津理工大学	2006	2006	
	上海師範大学	2008	2008	
	南開大学	2009		
	山西大学	2009	2009	
	吉林大学	2009	2009	
	四川大学	2009	2009	
	哈爾濱工業大學	2009	2009	
	東北大學	2010	2010	
	北京工業大學	2011	2011	
	福州大學	2011	2011	
	深セン大学	2011	2011	
	新疆政法大学	2011	2011	
	吉林工程学院	2013	2013	
	東北師範大学	2014	2014	
	重慶大學	2014	2014	
	南京師範大学	2015	2015	
	桂林理工大學	2015	2015	
	安徽大学	2015	2015	
	武漢理工大学	2016	2016	
	廣西医科大学	2018	2018	
カンボジア	王立ブンヘン大学	2016	2016	
ラ　オ　ス	ラオス国立大学	2011	2011	
台　湾	南洋科技大学	2008	2008	
	國立清華大学	2015	2015	
	國立高雄大学	2016	2016	
	長榮大学	2016	2016	
トルコ	エゲ大学	2000	2005	
	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学	2015	2015	
エ　ジ　ト　ロ	エスキズ運河大学	2006		
タンザニア	フューム大学	2008	2013	
コンゴ民主共和国	ムブツハイ大学	2015	2015	
ル　ン　ダ	ルワンダ国立大学	2014	2014	
ジ　ブ　チ	ジブチ大学	2013		
ブルキナファソ	ワガドゥジヨゼフ・キ・ゼルボ教授大学	2016		
	ニューカッスル大学	2008	1986	
オーストラリア	クイーンズランド工科大学	2014	2014	
	シドニー工科大学	2017	2017	
ニュージーランド	マッセー大学	2008	1996	
カ　ナ　ダ	アルバータ大学	2001		
	マカル大学	2016		
	モンタナ州立大学		1987	
	モンタナ大学	1987	1987	
	バージニアコモンウェルス大学	1989		
	ノースカロライナ大学シャーロット校	1990		
ア　メ　リ　カ	キサキステップ大学	1994		
	キサキササンアントニオ校	2010		
	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	2014		
	マサチューセッツ大学ボストン校	2016		
	ジョージア大学	2017		
	ライト州立大学	2017		
メ　キ　シ　コ	エヌエレオン州立自治大学	2017	2017	
アイルランド	ウォーターフォード工科大学	2018	2018	
	ダラム大学	2015	1993	
イ　ギ　リ　ス	バーミンガム大学	1993		
	リーズ大学		2006	
	ガーラント大学	2001	2002	
ド　イ　ツ	アルツベルト・フライリッヒ・ハイネ大学	2017	2017	
	ヘルリン技術経済大学	2018	2018	
	ボルドー工科大学	2006	2006	
フ　ラ　ン　ス	ボルドー大学	2007	2007	
	パクス・マレシユ大学	2016	2016	
	ボルドー・モンペリエ大学	2017	2017	
ス　ペ　イン	ヴァレンシア大学	2014	2016	
	ナビアティコ・テ・コンボステラ大学	2018	2018	
ポ　ー　ン　ド	バルシャワ大学	2009	2009	
	ブルグジン工科大学	2015	2018	
ハンガリー	バズマーニ・ベーテル・カトリック大学	2015		
ルーマニア	ブカレスト大学	2015	2015	
ス　ロ　ベ　ニア	アリホル大学	2016	2016	

部局名	国名・地域	大学名	協定締結年
文学部	ドイツ	ボン大学人文科学部	1997 1997
	中国	杭州師範大學外國文學部	2010 2010
文学部・社会文化科学研究科	台湾	淡江大學外國語文學院	2013 2013
社会文化科学研究科	アメリカ	ワシントン大学人文社会学部	2015
法曹養成研究科	スイス	デーヴィッド大学・文部省東洋学科日本学部門	2016 2016
人文社会科学研究部・社会文化科学研究科、法学院・法曹養成研究科	台湾	輔仁大学法律学院	2018 2018
社会文化科学研究科	中国	(復)旦大学國際關係及び公共事務学院	2009 2010
教育学部	韓国	江南大学校教育学部	2002 2003
	台湾	南開科技大学	2005 2005
法曹養成研究科	韓国	嶺南大学校法律専門大学院	2010
法学院・社会文化科学研究科・法曹養成研究科	台湾	東吳大学・法学院	2017 2017
医学部	中国	中國医学科学院	1983
医学部・生命科学研究部・医学教育部	中国	厦门大学醫經科学研究所・医学院	2010
	中国	浙江大学医学部	2010
医学部・生命科学研究部・保健学教育部	台湾	国立中央大学・生醫學工程学院	2018 2018
医学部・生命科学研究部・保健学教育部	韓国	高麗大学校保健科学大学・大学院バイオ融合工学科	2007 2008
生命科学研究部	ラオス	ラオス保健科学大学看護科学部	2014
生命科学研究部、医学教育部、薬学教育部、生命資源研究・支援センター	中国	温州医科大学	2008
生命科学研究部、医学教育部、エイズ学研究センター	中国	哈爾濱医科大学	1999 2014
生命科学研究部、医学教育部、エイズ学研究センター	タイ	チエンマイ大学 医療技術学部	2017 2017
生命科学研究部・保健学教育部	アメリカ	カリфорニア大学サンバーナンシスコ校看護大学院	2011
	カナダ	サンフランシスコ大学看護大学院	2012
	タイ	ナレスラム大学 医療保健学部	2016
生命科学研究部・医学附属附属病院	台湾	国立成功大学附属病院	2014
生命科学研究部・エイズ学研究センター・国際先端医学研究機構	タガニニア	聖・ラザロス医科大学	2017 2017
医学部	トルコ	オルハト大学・薬学部・薬学教育部	2017
薬学部・生命科学研究部・薬学教育部	トルコ	アナトリア大学	2017
	スードン	国立薬用植物有用植物研究所	2012
薬学部・生命科学研究部・薬学教育部	アメリカ	ジョージア州立大学炎症・免疫・感染研究センター	2013
薬学部・生命科学研究部・薬学教育部・薬用資源エココンビニアセンター	スリランカ	カラマラヤガルハイスクールカラマラヤアーラウエラ研究所	2014
薬学部・薬学教育部	トルコ	キリストアラップ大学・薬学部・薬学教育部	2017
薬学部・薬学教育部	スードン	ハルツーム大学・薬学系	2016
	カンボジア	カンボジア国立保健科学大学	2016
薬学部	韓国	高神大学校・一般大学院・保健福祉大学	2011 2011
理学部・工学部・先端科学研究部・自然科学研究科	マレーシア	ペトロス工科大学	2012 2012
	フランス	クレモンオーベルニ大学	2012 2012
	チエコ	サンテティエンヌ国立高等鉱業学校	2012 2012
	ギルギス	キラルバ・ピツエ大学	2015 2015
理学部・先端科学研究部・自然科学研究科	ベトナム	ベトナム自然資源環境省地質科学部資源資源研究所	2007
	モンゴル	モンゴル生命科学大学経済経営学部	2013 2013
	韓国	モンゴル国立立命館大学・モンゴル立命館大学	2013 2013
理学部・先端科学研究部・自然科学研究科	韓国	慶北大学校自然科學部・師範学部	2014 2014
	ドイツ	ロストック大学・数学及物理自然科学部物理学分野	2017 2017
	フランス	ローラン大学CRM2理工学部	2014 2014
工学部・先端科学研究部・自然科学研究科	フランス	トゥールーズ第三ボーラーサバイエ工大学・理工学部	2018 2018
	インド	アマライダス工学工学部	2006
	カナダ	カルガリー大学工科大学	2009 2009
	マーバル大学	マーバル大学	2009 2009
	インドネシア	デレコム大学電気工学部・大学院	2014 2014
	タイ	ハサクシア・スマラム大学産業技術学部	2015 2015
	タイ	チャラコムボン大学工学部	2011 2011
	タイ	キングムンシット工科大学ラックラバン工学部	2014 2014
	フィリピン	タマサード大学	2018 2018
	ベトナム	ダナン工科大学	2008 2008
	ベトナム	ホーチミン市建築大学	2008 2014
	ベトナム	ハイダム・山地大学	2015 2015
	ミャンマー	マンダレー工科大学	2015 2015
	モンゴル	モンゴル科学技術大学	2016 2016
	ラオス	スパン・ホン大学工学部	2017 2017
	韓国	湖西大学校工科大学	2007
	韓国	高麗大学校工学部・工芸学部・熟フスマ環境技術研究センター	2011
	韓国	韓国海洋大学校工科大学	2011 2011
	中国	江西理工大学土建建筑工程学院・化學化工学院	2007
	中国	北京大学工学院	2008 2008
	中国	華東建築大学土木工程学院・都市建設工学院・交通工学院及び大学院	2010 2010
	中国	浙江工商大学朝暉・都市管理学部	2016 2016
	中国	国立高雄第一科技大学工学院・電機資訊學院	2009 2009
	中国	国立台北科技大学・機電工程学院	2014 2014
	中国	大同大学・電気情報工学部	2017 2017
	中国	チャングルカラテキン大学工学部	2015 2015
	中国	ガジアンテュ大学・大学院・応用科学研究科	2015 2015
	カナダ	ジョージア工科大学工学部	1996 2003
	カナダ	クライヌス大学	2014
	カナダ	カレニアース大学	2009
	ブラジル	航空技術大学	2017 2017
	フランス	クリノーブル・アルプ大学リーテック・クリノーブル・UFR PHITEM	2011 2011
	ドイツ	ルール大学・ボーム社会環境工学部	2014 2014
	オランダ	トゥエント大学工学技術部	2015 2015
	チエコ	オストラ・工科大学及子二所アカデミー・地球科学研究所	2009 2010
	チエコ	チエコ科学アカデミー・物理研究所	2015
工学部・先端科学研究部・自然科学研究科	韓国	韓国農業技術研究開発機構工新素材研究実用化グループ	2003
	インド	アルバート工科大学	2017 2017
	タイ	モント王室エンブリーワーク工科大学エスルギー環境大学院	2016 2016
	ベトナム	ベトナム科学技術アカデミー・海洋地質地理物理学研究所	2017
	韓国	ベトナム国立自然博物館	2012
先端科学研究部・自然科学研究科	韓国	延世大学校・朴學書	2013
	中国	中科院植物・瀕州生物地理学研究所・北西植物資源国家重点实验室	2018 2018
	中国	中山大学地理科学系計画・監修学部	2013 2013
	カナダ	カガルガリー大学・工学部	2016 2016
	ドイツ	ライプツィヒ・应用地球科学研究所	2013
	ポーランド	AGH科学技術大学物質科学部	2010 2010
先端科学研究部・自然科学研究科・バルスワーラー科学研究所	チエコ	ブルハ化学生物学藝術	2010 2010
先端科学研究部・国際先端科学技術研究機構	アメリカ	ミシガン州立大学	2018
先端科学研究部・自然科学研究科・バルスワーラー科学研究所	アメリカ	カーネギー研究所地球科学研究所	2015
	インド	イント科学大学航空宇宙工学学科	2017
	韓国	西湖大学・ナラバウス大学	2004
	ロシア	ノボシビルスク州立大学航空機工学部および機械工学部	2008
	イギリス	グラスゴー大学工学部	2014
	ギルギス	キルギス共和国・科学アカデミー・化学及び化学生物技术研究所	2014 2013
	中国	上海交通大学・國際公共事務工程学院	2013
	オーストラリア	ウイーン大学・言語文化学部	2016
	台湾	台湾行政院農業委員会水產試驗所	2014
政策創造研究教育センター	韓国	韓国材料科学研究所鉱金属部門	2014
沿岸域環境科学教育研究センター	韓国	ソウル大学・ガラシネウム技術革新センター	2015
先進マグネシウム国際研究センター	台湾	国立台湾大学・材料工学部	2018
	オーストラリア	クイーンズランド大学材料工学材料工学部	2013
	ロシア	州立アラブ大学先進技術研究所	2015 2018
	チエコ	カレルルバ大学	2018
生命資源研究・支援センター	韓国	韓国農業工学研究院ラボラトリーアニマルリソースセンター	2013
	中国	中国科学院上海实验動物センター	2004
	中国	国家食糧食品质量监督检验研究所	2012
	台湾	國家實驗研究院國家實驗動物センター	2010
	オーストラリア	オーストラリア国立大学オーストラリアフェミクスファシリティ	2014
	アメリカ	ジャクソン研究所	2004
	イギリス	カリフォルニア大学・データベース校・ウスバ・バイオジ・プログラム	2013
	フランス	医学研究評議會	2011
	スペイン	バスク・研究所	2015
	スペイン	スペイン・国立研究所	2012
	ウルグアイ	バスク・研究所モントビティオ	2017 2016
エイズ学研究センター	タイ	メーフォーランド大学医学部	2016
国際先端科学研究機構	シンガポール	シンガポール・南洋大学がん科学研究所	2017

國際先端科學技術研究機構

研究者の派遣・受入れ

(平成29年度)

地域	国名・地域名	派遣						受入						計	
		文部 科学省	日本学術 振興会	国際協力 機構	その他 国内資金	外国政 府・研究 機関等	私費	計	文部 科学省	日本学術 振興会	国際協力 機構	その他 国内資金	外国政 府・研究 機関等		
アジア	インド	1			13			14				6		6	
	インドネシア	3			11	3	2	19	4	2		6	1	14	
	カンボジア				4	1		5						0	
	シンガポール	3	2		12	3		20	1	11		1		13	
	スリランカ				1			1						0	
	タイ	7			32	2		41			26	22	1	49	
	ネバール		2		1			3						0	
	バングラデシュ	1	2					3				13		13	
	フィリピン	1	2		7			10				14		14	
	ベトナム	6			17	1	1	25				3		3	
	マレーシア	1			13		1	15		2		2		4	
	ミャンマー		2		7	12		21		3	4	2	3	12	
	モンゴル				9	2		11				1		1	
	ラオス				3			3						0	
	韓国	4	1	1	66	6	4	82	7	3		24	8	1	43
	台湾	4	1		32	3	4	44				9	3		12
	中国	3	4	1	87	10	1	106	5	3		25	9	1	43
	小計	34	16	2	315	43	13	423	17	24	30	128	25	3	227
中近東	アラブ首長国連邦				2		1	3							0
	イスラエル						0	1				1			2
	イラン				1		1					1			1
	オマーン						0					1			1
	トルコ		2		3		2	7				2			2
	バキスタン					1		1							0
アフリカ	小計	0	2	0	5	2	3	12	1	0	0	5	0	0	6
	エジプト						0					3			3
	エチオピア					1	1								0
	ケニア			2			2								0
	スー丹			1			1								1
	タンザニア	2		1			3		1			1			2
	ブルキナファソ						0					1			1
	南アフリカ				1		1								0
	小計	0	2	0	4	1	1	8	0	2	0	4	1	0	7
	オーストラリア		3		37		1	41	1			5			6
オセアニア	ニュージーランド				5	1		6	1			4			5
	フィジー						0					1			1
	小計	0	3	0	42	1	1	47	2	0	0	6	4	0	12
北アメリカ	アメリカ	8	16		248	6	12	290	3	2		24	19		48
	カナダ	1			16	2	1	20		1		3	7		11
	小計	9	16	0	264	8	13	310	3	3	0	27	26	0	59
中南アメリカ	アルゼンチン	1					1					1		1	2
	ジャマイカ						0					1			1
	ブラジル						0						1		1
	メキシコ	1		1			2	2				1	5		8
	小計	1	1	0	1	0	0	3	2	0	0	3	5	2	12
ヨーロッパ	アゼルバイジャン						0	1							1
	アイルランド	1		2			3								0
	ギリス	2	2		44	1	3	52				4	1	1	6
	イタリア	3			26	2	3	34	1						1
	ウズベキスタン					1	1								0
	オーストリア	5			22	2	1	30						1	1
	オランダ				4			4				1			1
	カザフスタン				1	1		2				5			5
	ギリシャ				3			3							0
	クロアチア				2			2							0
	スイス	1			19		4	24		1		2		1	4
	スウェーデン				6	1		7							0
	スペイン	3			24	1	1	29	1	1		2			4
	スロバキア				1			1							0
	スロベニア				2			2				1			1
	セルビア						0	1							1
	チエコ	1	1		6	2		10				1			1
	デンマーク		1		8			9	1						1
	ドイツ	5			59		5	69	1	1		8	3		13
	ノルウェー				3			3							0
	ハンガリー				3			3				1			1
	フィンランド				5			5							0
	フランス	8	3		48	1		60	3			4	4		11
	ベルギー				1			1							0
	ポーランド				4	1		5							0
	ポルトガル	1			4			5							0
	マルタ							0				1			1
	ラトビア				1			1					3		3
	リトアニア							0				1			1
	ルーマニア				2			2							0
	ロシア				16	1		17				1			1
	小計	21	16	0	316	13	18	384	9	3	0	32	11	3	58
合計		65	56	2	947	68	49	1,187	34	32	30	205	72	8	381

4 国際交流

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバーンシア・ミコトシア

沿革略図

沿革略年表

海外派遣留学生

交流協定校への派遣学生

(学生交流協定を締結している大学への3ヶ月以上1年内の派遣)

(過去5年間の実績)

国名・地域	大 学 名	派 遣 人 員														
		平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
ア メ リ カ	モンタナ州立大学	1	1	2	2	1	3	0	1	1	2	0	2	2	1	3
	モンタナ大学	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジョージア工科大学	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジョージア州立大学 炎症・免疫・感染研究センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1
カ ナ ダ	アルバータ大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	0	0
オーストラリア	ニューカッスル大学	0	0	0	2	1	3	0	4	4	0	1	1	1	2	3
	シドニー工科大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	3
ニュージーランド	マッセー大学	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
イ ギ リ ス	リーズ大学	0	1	1	2	6	8	0	5	5	2	3	5	1	4	5
	ダラム大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4	0	2	2
ド イ ツ	ボン大学 (文学部との部局間交流協定校)	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	2
	ザールラント大学	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	3	0	2	2
フ ラ ン ス	ボルドー・モンテニュ大学	0	1	1	3	1	4	1	2	3	1	3	4	0	2	2
	ボルドー工科大学	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	ブレーズ・パスカル大学 (理学部・工学部・自然科学研究科との部局間交流協定校)	-	-	-	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	ロレーヌ大学 (理学部・自然科学研究科との部局間交流協定校)	-	-	-	-	-	-	1	1	2	0	0	0	1	1	2
	サンテティエンヌ国立高等鉱業学校 (理学部・工学部・自然科学研究科との部局間交流協定校)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	0	0
ポーランド	ワルシャワ大学	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
チエコ	オストラバ工科大学 及び チエコ科学アカデミー地球科学研究所 (工学部・自然科学研究科との部局間交流協定校)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	プラハ化学技術大学	-	-	-	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スイス	チューリッヒ大学 (文学部・社会文化科学研究科との部局間交流協定校)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	1
スロベニア	マリボル大学	1	0	1	1	0	1	1	0	1	3	0	3	2	0	2
ロシア	ノボシビルスク州立工科大学	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	0	0	1	0	1
中 国	華東政法大学	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同济大学	-	-	-	-	-	-	1	1	2	0	2	2	0	1	1
	上海交通大学	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	深圳大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	0	0
	マカオ大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	1
台 湾	南栄科技大学 (教育学部との部局間交流協定校)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南台科技大学	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
韓 国	東亜大学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ソウル市立大学校	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
マレーシア	マレーシア理科大学	-	-	-	-	-	-	0	1	1	0	0	0	0	0	0
ベトナム	ハノイ建設大学	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貿易大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2
インドネシア	バンドン工科大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スラバヤ工科大学	-	-	-	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ガジャマダ大学	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	0	0	0	0	0
インド	アナマライ大学	-	-	-	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		6	8	14	16	11	27	10	17	27	17	15	32	11	26	37

海外語学セミナー及び協定校でのサマープログラム

全学生を対象に、夏休みや春休みを利用して協定校等で2週間～1ヶ月の短期セミナーを実施しています。

国名・地域	大学名	実施期間	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	累計	
協定校	カナダ アルバータ大学	夏期4週間	10	16	9	26	23	SARS発生により中止	29	23	15	28	14	14	20	13	28	39	38	32	熊本地震により中止	24	401	
	アメリカ モンタナ州立大学	夏期2週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	6	8	22	
	イギリス リーズ大学	夏期4週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	7	8	18
	オーストラリア ニューカッスル大学	春期2週間	—	—	—	—	—	—	7	5	6	8	6	4	15	18	11	16	25	30	7	9	167	
	フィリピン アテネオデマニラ大学	4週間 ※随時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	10	31	
	韓国 東亜大学校	夏期2週間	—	—	—	—	—	—	—	—	11	7	6	7	5	5	4	4	5	4	7	2	67	
	韓国 培材大学校	夏期2週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	3	4	6	5	1	—	—	—	—	—	23	
	韓国 朝鮮大学校	夏期3週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	
	韓国 冬期2週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	5	
	韓国 ソウル市立大学校	夏期3週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	4	1	—	—	—	—	—	10	
	韓国 釜慶大学校	夏期10日間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	2	2	7
	中国 上海師範大学	夏期2週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	10	10	5	11	—	—	—	—	—	—	—	41
	中国 夏期4週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	3
	中国 華東政法学院	夏期4週間	—	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12
	中国 同濟大学	夏期2週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	—	2	—	—	—	—	6
	中国 安徽大学	夏期1週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	台湾 南台科技大学	夏期2週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	3	2	5	2	5	5	3	2	31	
	台湾 長榮大学	夏期1週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
協定校外	ドイツ フライブルク大学	夏期4週間	—	—	—	8	7	13	9	22	18	21	16	30	6	15	22	37	21	5	10	1	261	
	アメリカ ハワイ大学マノア校	夏期4週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	18	—	—	48	
	アメリカ ハワイ大学マノア校	春期3週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	0	—	—	6	
	ニュージーランド マッセー大学	冬期2週間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	8	9	—	23	
合 計			10	16	9	34	30	13	57	50	55	78	57	68	69	69	78	100	135	115	72	88	1,203	

国際奨学事業

本事業は、本学学生の海外での学習・研究活動への参加を支援するために平成17年度からはじまった本学独自の奨学金制度です。対象となる活動は、国際学会での発表、国際的な調査活動、国際インターンシップ、交流協定校での目標を定めた学習、国際的な学習・研究活動、短期海外語学セミナーです。

国際奨学事業受給者

部 局 名	平成28年度			平成29年度			
	男	女	計	男	女	計	
学 部	文 学 部	2	0	2	2	1	3
	教 育 学 部	6	3	9	2	3	5
	法 学 部	2	4	6	6	4	10
	理 学 部	2	3	5	4	1	5
	医 学 部	1	0	1	1	0	1
	薬 学 部	2	2	4	4	2	6
	工 学 部	13	2	15	16	6	22
小 計		28	14	42	35	17	52
大 学 院	教 育 学 研 究 科 (修 士)	0	0	0	4	5	9
	社会文化科学研究科(博士前期)	3	1	4	1	2	3
	社会文化科学研究科(博士後期)	1	3	4	5	2	7
	自然科学研究科(博士前期)	14	4	18	11	3	14
	自然科学研究科(博士後期)	2	0	2	2	3	5
	医 学 教 育 部	5	2	7	2	5	7
	保 健 学 教 育 部	5	3	8	3	0	3
	薬 学 教 育 部	2	0	2	2	0	2
	法 曹 養 成 研 究 科	0	0	0	0	0	0
小 計		32	13	45	30	20	50
合 計		60	27	87	65	37	102

*教育学部は特別支援教育特別専攻科を含む。

活動内容

活動内容	(件数)
国際学会発表	732
国際的な調査活動	235
国際インターンシップ	104
留学	60
その他	213
合 計	1,344

*活動内容は重複を含む(8件)。

渡航した国・地域(平成29年度)

ドイ ツ	イギ リス	イタ リア	オースト リア
オランダ	チエコ	スロベニア	フランス
スペイン	ギリシャ	ポーランド	アメ リカ
カナダ	中国	韓国	台湾
トルコ	ニュージーランド	ベトナム	シンガポール
フィリピン	マレーシア	インドネシア	ガーナ

海外語学セミナーへの補助

国 名	大 学 名	平成28年度	平成29年度
カ ナ ダ	アルバータ大学	0	6
オーストラリア	ニューカッスル大学	2	1
ド イ ツ	フライブルク大学	1	0
ア メ リ カ	モンタナ州立大学	1	2
イ ギ リ ス	リーズ大学	0	6
フィリピン	アテネオデマニラ大学	10	2
合 計		14	17

*海外語学セミナーへの補助は19年度より開始。

4 国際交流

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバーシティ・ミュージアム

沿革略図

沿革略年表

外国人留学生

出身地域別・出身国別外国人留学生数

(H30.5.1現在)

出身地域	出身国	学 部										大 学 院										日本語 研修生 計	
		学部学生		研究 生		科 目 等 履 修 生		特別時講学生		小 計		大 学 生		研 究 生		科 目 等 履 修 生		特別時講学生		特 別 研 究 生			
		国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費		
アジア	イングランド									1	1	1	1	3								4	5
	インドネシア									8	8	18	10	12								3	245
	シンガポール									0	1											1	1
	タ イ							1	3	4	2	4									1	6	13
	ネ バ ー ル								0	2												2	2
	バングラデシュ								0	14	17											31	31
	フィリピン								2	2	3	1									1	5	7
	ベトナム								5	5	2	1	2									5	10
	マレーシア	13	1						3	17	5											5	22
	ミャンマー								0	3	13											16	16
中近東	モンゴル	5							2	7	4										1	5	12
	韓 国	1	1	5					19	26	4											4	30
	台 湾								14	14	9											2	11
	中 国		30		5				49	84	1	5	93	1							4	7129	213
	小 計	1	19	36	0	0	5	0	0	2	105	168	50	16	164	1	0	0	18	0	0	0	0
																				0	17276	0444	
中南米	アフガニスタン									0	1	8										9	9
	イラク								0	1												1	1
	イラン	1							1		1											1	2
	オ マ ーン								0	1												1	1
	トルコ								0											2		2	2
オセアニア	小 計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	9	0	0	0	0	0	0	0	14	015
	エルサルバドル									0												0	1
	グアテマラ									0	1											1	1
	コスチリカ									0		1										1	1
	ドミニカ									1	1	2										0	2
アフリカ	ブラジル									2	2	1										1	3
	メキシコ																						1
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	19
	オーストラリア									2	2											0	2
	キリバス									0	1											1	1
ヨーロッパ	サモア独立国									0	2											2	2
	パプア・ニューギニア									0	1											1	1
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	06
	ウガンダ	1								1												0	1
	エジプト									0	2	1									3	14	
ヨーロッパ	ガーナ									0	3											3	3
	カーボベルデ									0	1											1	1
	ケニア									0	1	2										3	3
	コンゴ民主共和国									0	1	1										1	2
	スー ダン									0	1											1	1
ヨーロッパ	セネガル									0	1	1										1	1
	タンザニア									0	3											3	3
	ナイジェリア									0	1	2										3	3
	ベナン									0	1	1										1	1
	モーリタニア									0	1	1										1	1
ヨーロッパ	モロッコ									0	1	1										1	2
	リベリア									0	1	1										1	1
	小 計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	11	0	11	1	0	0	0	0	0	0	0	25	127
	アルメニア									0	1											1	1
	スイス									2	2											0	2
ヨーロッパ	ドイツ									3	3											0	3
	フランス									3	3											3	8
	ブルガリア									0	1											1	1
	ポーランド									0	1	1										1	1
	ルーマニア									1	1											0	1
ヨーロッパ	英 国									1	1											0	1
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	10	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0511021
	計	3	19	36	0	0	5	0	0	0	4119	186	66	17	191	3	0	0	18	0	0	0	15
	(51ヶ国)		58		5		0			123	186	274		21					0	15	24	334	2522

国際交流会館

熊本大学国際交流会館は、海外からの留学生・研究者用の宿泊施設として昭和60年にA棟が建てられました。その後留学生・研究者の増加に伴い平成7年にはB棟、平成21年11月にはC棟、D棟、E棟が新たに建てられ、平成30年5月現在で全232室に33ヶ国からの留学生・外国人研究者が居住しています。また、平成28年4月から日本人学生も受け入れる混住型宿舎になりました。

(H30.5.1現在)

居 室						構 造						共用施設	
	家族室	夫婦室	单身室	シェアタイプ	計		鉄筋コンクリート造(5階建)	鉄筋コンクリート造(5階建)	鉄骨造(3階建)	鉄骨造(3階建)	鉄骨造(3階建)	談話室	研修室
A 棟	3	3	49		55		鉄筋コンクリート造(5階建)	鉄筋コンクリート造(5階建)				1	1
B 棟	4	3	50		57		鉄筋コンクリート造(5階建)	鉄筋コンクリート造(5階建)				1	1
C 棟				36	36		鉄骨造(3階建)	鉄骨造(3階建)				1	1
D 棟				36	36		鉄骨造(3階建)	鉄骨造(3階建)				1	1
E 棟			48		48		鉄骨造(3階建)	鉄骨造(3階建)				1	1
計	7	6	147	72	232							10	10

5 社会連携

生涯学習

公開講座

(平成29年度)

講座名	開催期間	募集人数	受講者数	受講対象者
薬を知ろう！～大衆薬・サプリメント編～	5/20～9/30	20	7	一般社会人
薬を知ろう！～医療用医薬品（病院・薬局でもらう薬）編～	10/14～11/18	15	9	一般社会人
リーダーシップ・トレーニング	8/18～11/25	36	40	一般社会人、組織・団体のリーダー
ハーンと漱石	9/7～12/21	20	18	一般社会人
陶芸教室～土と親しみ、つくる喜びを求めて～	5/13～12/16	15	15	一般社会人
陸上競技教室	7/8～8/26	40	44	小学生以上
世界の民謡を尋ねて・・・	9/9～10/7	25	14	一般社会人
教育デザイン・ワークショップ入門編	11/11～12/3	200	218	企業内教育、医療人材育成、学校教育など、教育を企画・デザイン・運営されている方
教育デザイン・ワークショップ応用編	1/13～1/28	120	96	企業内教育、医療人材育成、学校教育など、教育を企画・デザイン・運営されている方
経済学教室～社会において経済学はどのように役立っているのだろうか～	9/9～9/30	15	5	一般社会人

授業開放科目

平成29年度前学期

	文学部	教育学部	法学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	大学教育 総括管理 運営機構	(院) 社会文化 科学研究科	(院) 自然科学 研究科	計
科目数	5	2	4	7	7	34	15	33	3	2	112
募集人員	25	10	20	35	35	170	75	165	15	10	560
受講者数	9	1	4	5	4	9	4	69	5	0	110

平成29年度後学期

	文学部	教育学部	法学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	大学教育 総括管理 運営機構	(院) 社会文化 科学研究科	(院) 自然科学 研究科	計
科目数	7	2	3	11	6	25	18	24	2	0	98
募集人員	35	10	15	55	30	125	90	120	10	0	490
受講者数	10	1	5	4	4	8	9	43	4	0	88

知のフロンティア講座(全14回)

(平成29年度)

タイトル	開催回数	開催日
熊本県の防災・減災を考える	5回	9月30日(土) 10月7日(土) 10月14日(土) 10月21日(土) 10月28日(土)
熊大発！カラダの引き締めかた教えます	3回	6月25日(日) 10月10日(火) 10月12日(木)
カフェ型健康サロンプロジェクト in水前寺	2回	7月7日(金) 1月19日(金)
ながら体操のすすめ(筋トレくらぶ共催)	1回	9月13日(水)
産山村における筋力トレーニングの紹介	1回	12月11日(月)
2016 熊本地震からの創造的復興に向けて (関西オフィスセミナー)	1回	9月16日(土)
熊本地震を科学する—熊本地震による熊本城跡と石橋の被害況と要因分析(東京オフィスセミナー)	1回	9月24日(日)

五高記念館入館者数

入館者数 ※平成28年熊本地震による被災のため、平成28年4月15日から休館中

年 度	開館日数	入館者数	(1日平均)	年 度	開館日数	入館者数	(1日平均)
平成13年度	103	4,558	(約44人)	平成21年度	298	9,432	(約31人)
平成14年度	102	2,017	(約19人)	平成22年度	288	9,521	(約33人)
平成15年度	99	1,651	(約16人)	平成23年度	296	10,968	(約37人)
平成16年度	99	2,409	(約24人)	平成24年度	300	10,742	(約36人)
平成17年度	122	3,257	(約26人)	平成25年度	296	12,346	(約42人)
平成18年度	314	6,618	(約21人)	平成26年度	298	13,603	(約46人)
平成19年度	303	8,656	(約28人)	平成27年度	300	15,804	(約53人)
平成20年度	296	10,123	(約34人)	平成28年度	14	754	(約54人)

※平成18年2月までは、土・日のみの開館。



展示室内の勝海舟筆扁額

組織

教育研究等

職員・学生数等
国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバーシティミュージアム
沿革略図

沿革略年表

5 社会連携

包括的連携協定等

本学の知的・人的資源を活用して、連携各機関と相互に協力しながら、地域における教育や文化の質の向上、産業の振興、地域課題の解決、環境保全に貢献することを目的としています。

	機 関 [協定年月日]	目 的
自治体等	天草市(旧本渡市) [平成16年3月29日]	包括的な連携の下、相互に協力し、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。
	葦北郡芦北町 [平成18年12月4日]	中山間地域の振興を目指して相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。
	熊本市 [平成19年4月26日]	相互に協力し、熊本市及び熊本都市圏を始めとする地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。
	水俣市 [平成19年8月4日]	環境モデル都市の実現のため、環境保全、人材育成、地域づくり等様々な分野において、相互に協力することを目的とする。
	熊本県 一般社団法人アジア法務サポートセンター [平成24年11月30日]	熊本県内企業の海外展開支援を連携して行うことにより、熊本県地域経済の発展及び人材の育成に寄与することを目的とする。
	菊池市 [平成26年8月18日]	大学の知的・人的資源を活かし、まちづくりなどを中心に、地域の課題解決に向けた市と大学との協力体制を築いていくことを目的とする。
	益城町 [平成29年4月12日]	復興に関する課題を共有し、それぞれの資源や機能などの活用を図りながら、幅広い分野で相互に協力し、益城町の震災からの復興に寄与することを目的とする。
	荒尾市 [平成29年9月22日]	包括的な連携の下に相互に協力し、地域社会の発展及び人材の育成に寄与することを目的とする。
	公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター [平成29年12月18日]	時勢に応じた地方創生に関する課題を共有し、それぞれの資源や機能などの活用を図りながら、幅広い分野で相互に協力し、阿蘇地域社会の発展及び人材の育成に寄与することを目的とする。
研究機関等	財団法人阿蘇火山博物館久木文化財団 [平成18年4月21日]	相互に協力し、火山を始めとする阿蘇地域に関する研究及び地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。
	放送大学 [平成22年11月20日]	包括的な連携協力の下、教育研究の推進並びに地域及び国際社会に寄与することを目的とする。
	北陸先端科学技術大学院大学 [平成28年7月27日]	地震により被災した熊本地方の震災復興に向けた課題について、産学官連携活動を通じて、連携及び協力して取り組むことを目的とする。
	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 [平成28年9月20日]	産業技術総合研究所及び熊本大学による研究開発及び研究・教育活動を連携及び協力して実施することにより、平成28年熊本地震により被災した熊本地方の早期の復興に寄与することを目的とする。
	国立研究開発法人産業技術総合研究所 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 熊本県 [平成29年3月17日]	自然共生型産業(ハイオ・ヘルスケア・材料技術等)分野、医工連携分野、IoT・AI・ビッグデータ活用分野及びそれらの周辺分野において、国内外の様々な技術シーズを活かして事業化を目指す熊本県内の企業を連携して支援し、オープンイノベーションを通して、新産業の創出を促進すること等により、熊本県内の産業の創造的復興及び我が国の経済発展に寄与することを目的とする。
	国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター、熊本県 [平成29年4月10日]	相互の連携と協力により、平成28年熊本地震からの創造的復興を達成し、復旧・復興を熊本の更なる発展につなげるとともに、「災害に強く誇れる資産を次代につなぎ夢にあふれる新たな熊本の創造」に資することを目的とする。
	国立研究開発法人科学技術振興機構 [平成29年7月21日]※熊本地方COC+推進協議会(COC+参加校)として	研究開発及び研究教育活動を連携及び協力して実施することにより、平成28年熊本地震により被災した熊本地方の早期の復興に寄与することを目的とする。
	国立大学法人鹿児島大学 [平成29年10月26日]	南九州プラットフォームを設置し独立行政法人教職員支援機構が実施するプログラムを活用するとともに、学校教育関係職員の研修に関連する諸課題に的確に対応するために連携及び協力することを目的とする。
	富士電機システムズ株式会社 [平成17年8月23日] DOWAホールディングス株式会社 [平成19年2月16日]	本学の有する研究成果と企業の有する技術力を集結し、産学の連携を推進することにより「次世代技術」を開発し、あわせて学術協力の振興、研究成果による社会貢献及び研究者・技術者の育成に資することを目的とする。
企業等	株式会社熊本日日新聞社 [平成23年2月23日]	包括的な連携の下、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。
	特定非営利活動法人NEXT熊本 [平成23年4月13日]	相互が有する人的、知的資源及び調査研究成果等の交流を行い、相互に連携することにより、地域情報化を推進し、あわせて学術研究の振興、地域情報化に係わる人材の育成に資することを目的とする。
	不二ライトメタル株式会社 [平成23年9月1日]	KUMADA/マグネシウム合金の製造・開発にかかる連携協力を強化し、産業界における実用化を促進することを目的とする。
	熊本県 不二ライトメタル株式会社 株式会社日本医療機器技研 [平成27年9月28日]	各機関が有する人的・知的資源、研究・技術的成果を結集し、マグネシウム合金を使った医療機器の産業化による地域産業の活性化を目的とする。
	熊本県 株式会社肥後銀行 一般社団法人熊本県工業連合会 株式会社リバネス [平成28年2月9日]	大学等研究機関から事業シーズの発掘、創業支援を行い、将来的にはグローバルに活躍するメガベンチャーを創出することにより、熊本県内の新産業創出、雇用促進を図ることを目的とする。
	日立造船株式会社 熊本県 [平成28年2月15日]	日立造船と熊本大学において、熊本県の協力のもと、人的・知的資源の交流促進を通じて人材育成及び研究開発を充実させ、地域社会の発展に資することを目的とする。
	平田機工株式会社 [平成28年8月8日]	平田機工株式会社と熊本大学との間で双方が有する人的・知的資源の交流促進を通じて人材育成及び研究開発を充実させ、連携活動の強化を図り、もって地域社会の発展に資することを目的とする。
	熊本県 熊本県商工会議所連合会 ミュージックセキュリティーズ株式会社 熊本県商工会連合会 熊本県中小企業団体中央会 熊本県中小企業家同友会 [平成28年12月26日]	平成28年熊本地震で被災した県内中小企業者について、熊本地震被災地応援ファンドによりその復旧・復興を支援し、新たな成長産業及び地域資源活用型産業につなげることによって、熊本県の創造的復興に寄与することを目的とする。
	株式会社あつまるホールディングス [平成29年5月9日]	双方が有する人的・知的資源の交流促進を通じて人材育成及び研究開発を充実させ、連携活動の強化を図り、もって地域社会の発展に資することを目的とする。



益城町との協定調印式

東京大学先端科学技術研究センター
及び熊本県との協定調印式(株)あつまるホールディングスとの
協定調印式

6 福利厚生施設

福利厚生施設

保健センター

保健センターは、昭和48年に本学に設置されて以来、学生・教職員の身体及び精神上の健康の保持増進を図るために定期・臨時の健康診断、健康相談、応急措置等を行っています。

(H30.4.1現在)

職員数	構造等	主な施設	業務内容	備考
所長(併) 専任教員(所長を含む) 3名 看護師 3名 学内医(併) 2名 カウンセラー 1名	鉄筋2階建 占有面積613m ²	診察室 検査室 休養室 相談室	定期及び臨時の健康診断、RI等取扱者の健康診断、健康相談、精神衛生相談、学生生活・教育相談、学業・進路相談、留学生相談、一般処置、スポーツクリニック、体育系サークル検診、保健センターだよりの発行及び保健情報の提供	昭和48年4月12日設置

学生寄宿舎

学生寄宿舎は、熊本大学黒髪キャンパスから東に約1.5Km離れた県道337号線沿いに位置し、本学学部学生及び学部留学生に対して勉学に資する生活の場を提供する目的で設置された施設です。

(H30.4.1現在)

定員数	対象者	構造・建物延面積	居室等	備考
男子 200名 (A棟 100名) (B棟 100名) 女子 80名 合計 280名	学部学生 及び 学部留学生	鉄筋5階建 (ただし、共通棟は鉄筋平屋建) 延面積5,024m ²	各室個室(10m ²) 男女浴室各1(共通棟) 各階に談話室、補食室、洗面・洗濯室、トイレ	昭和55年4月1日設置 (所在地) 熊本市中央区黒髪 7丁目763番地

学生会館

学生会館は、学生相互の親睦を深め、福利厚生の充実を図ることを目的として昭和41年に設立されたもので、会館には、集会室、体育団体・文化団体連絡室、食品・書籍・文具・プレイガイド及び食堂等があります。

(H30.4.1現在)

北地区学生会館 A棟				
課外活動施設関係		福利厚生施設関係		
種別	部屋数	面積	種別	面積
大集会室	1	501m ²	食堂	622m ²
音楽室	1	100m ²	厨房	263m ²
集会室	5	322m ²	購買関係	500m ²
和室	2	46m ²	機械室	46m ²
その他		505m ²	その他	570m ²
合計		1,474m ²	合計	2,001m ²

北地区学生会館 B棟				
課外活動施設関係		福利厚生施設関係		
種別	部屋数	面積	種別	面積
体育会本部室	1	74m ²	理髪所	33m ²
文化部会室	1	52m ²		
紫熊祭本部室	1	57m ²		
ミーティング室	2	118m ²		
その他		289m ²		
合計		590m ²	合計	33m ²

総面積 4,098m²

体育施設

(H30.4.1現在)

地区	施設名	面積等
黒髪	陸上競技場	1面 (トラック300m、7コース)
	ラグビー場	1面
	サッカーフィールド	1面
	テニスコート	4面 (教育学部東教場)
	プール	50m8コース
	体育館	2棟 5,016m ²
	体育器具庫	3棟 736m ²
渡鹿 (大江総合運動場) ※主として 課外活動用	野球場	1面 (両翼88m、中堅110m)
	テニスコート	8面
	アーチェリー場	1基 (10人立)
	弓道場	1棟 (8人立)、191m ²
	体育館	1棟 990m ²
	自動車練習場	1面 2,378m ²
	合宿研修棟	1棟 1,068m ²
本荘	体育館	1棟 1,446m ²
	テニスコート	1面
	体育館	(武道場を含む)
大江 (薬学部)	運動場	1面
	テニスコート	1面 } 11,620m ²
三角 (宇城市三角町)	体育館	1棟 1,071m ²
	ヨット用艇庫	1棟 121m ²
広木	合宿所	1棟 59m ²
	漕艇用艇庫	1棟 225m ² (土地は熊本市から借用)

その他の福利厚生施設

(H30.4.1現在)

地区	施設名	面積	席数
黒髪(南)	F O R I C O 食堂	950m ²	412
	F O R I C O 売店	165m ²	—
本荘	楷樹会館食堂	207m ²	153
	楷樹会館購買	107m ²	—
大江	蕃滋館食堂	185m ²	160
	蕃滋館購買	56m ²	—
黒髪(北)	くすの木会館レセプションルーム	157m ²	90
	くすの木会館和室	90m ²	—
	くすの木食堂	138m ²	137

宿泊施設

(H30.4.1現在)

地区	施設名	面積	室数
黒髪(北)	くすの木会館宿泊室	1部屋25m ²	5

平成30年度収入・支出予算額

収入予算

単位：百万円

事 項	収 入 額
運営費交付金収入	14,103
自己収入等	34,006
受託事業等収入	4,665
施設費補助金収入	1,232
施設費借入金収入	768
合 計	54,774

収入予算

施設費補助金収入
1,232(2.2%)施設費借入金収入
768(1.4%)運 営
費
付
け
金
収
入
14,103
(25.8%)合計
54,774
百万円自己収入等
34,006
(62.1%)受託事業等収入
4,665(8.5%)寄附金収入
1,569
産学連携等研究収入
3,096学生納付金
附属病院収入
雑収入
6,138
27,680
188

支出予算

単位：百万円

事 項	支 出 額
人件費	19,629
物件費	25,795
債務償還経費	2,685
受託事業等支出	4,665
施設費事業支出	2,000
合 計	54,774

支出予算

受託事業等支出
4,665(8.5%)施設費事業支出
2,000(3.7%)人件費
19,629
(35.8%)合計
54,774
百万円物件費
25,795
(47.1%)債務償還経費
2,685(4.9%)

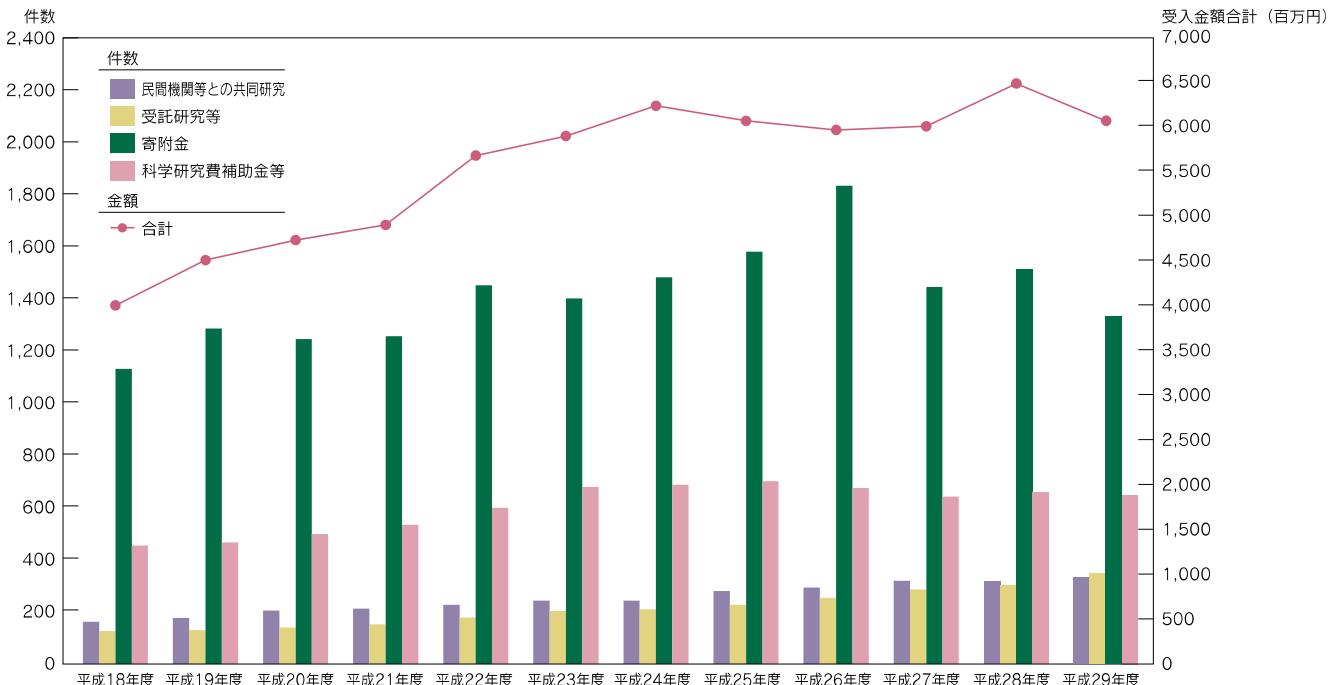
科学研究費助成事業採択状況

(平成29年度 執行見込額)

種 別	件 数	金額 (千円)	種 別	件 数	金額 (千円)
新学術領域研究（研究領域提案型）	22	121,550	若手研究(A)	15	66,560
基盤研究(S)	3	113,750	若手研究(B)	128	192,317
基盤研究(A)	14	118,006	研究活動スタート支援	16	21,780
基盤研究(B)	98	479,960	研究成果公開促進費	1	600
基盤研究(C)	324	474,953	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）	5	54,600
挑戦的萌芽研究	36	52,390	特別研究員奨励費	41	38,485
挑戦的研究（萌芽）	15	46,800	総 計	718	1,781,751

※間接経費を含む。千円未満は四捨五入。

外部資金等受入状況



	民間機関等との共同研究		受託研究等		寄附金		科学研究費補助金等		合 計 金額(千円)
	件 数	金額(千円)	件 数	金額(千円)	件 数	金額(千円)	件 数	金額(千円)	
平成18年度	162	280,397	126	782,534	1,131	1,100,367	454	1,846,738	4,010,036
平成19年度	177	322,753	131	1,197,621	1,286	1,211,178	466	1,784,457	4,516,009
平成20年度	204	346,947	139	1,145,421	1,245	1,419,462	498	1,827,264	4,739,094
平成21年度	212	249,108	150	779,525	1,256	1,610,661	533	2,262,968	4,902,262
平成22年度	227	321,015	172	1,110,084	1,452	1,717,616	599	2,528,118	5,676,833
平成23年度	243	384,620	197	1,080,221	1,401	1,799,194	678	2,642,832	5,906,867
平成24年度	243	361,469	206	988,966	1,482	1,828,130	687	3,067,303	6,245,868
平成25年度	279	383,877	221	949,472	1,581	1,849,497	700	2,885,846	6,068,692
平成26年度	293	416,315	252	1,366,782	1,834	1,685,254	675	2,508,927	5,977,278
平成27年度	318	411,237	285	2,265,917	1,446	1,568,707	642	1,783,050	6,028,911
平成28年度	313	500,262	299	2,392,851	1,512	1,831,884	660	1,827,391	6,552,388
平成29年度	316	551,010	352	1,989,353	1,317	1,727,665	682	1,791,685	6,059,133

※旧科学技術振興調整費を含む。

※寄附講座分を含む。

※熊本大学基金は含まない。

※特別研究員奨励費は含まない。

主な競争的資金採択状況

スーパーグローバル大学等事業（国際化拠点整備事業費補助金）

事業名	プログラム名称	実施期間
スーパーグローバル大学創成支援事業 (タイプB:グローバル化牽引型)	地域と世界をつなぐグローバル大学Kumamoto	平成26~35年度

大学改革推進等補助金

事業名	プログラム名称	実施期間
地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)	活力ある地域社会と共に創る火の国人材育成事業	平成26~30年度
地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+事業)	“オール熊本”で取り組む熊本産業創生と雇用創出のための教育プログラム	平成27~31年度

地域産学官連携科学技術振興拠点施設整備費補助金

事業名	拠点名	実施期間
地域科学技術実証拠点整備事業	自然共生型産業イノベーションセンター	平成28~30年度

地域産学官連携科学技術振興事業費補助金

事業名	拠点名	実施期間
イノベーションシステム整備事業	地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 「有用植物×創薬システムインテグレーション拠点推進事業」	平成29~33年度

研究大学強化促進費補助金

事業名	プログラム名称	実施期間
研究大学強化促進事業		平成25~34年度

科学技術人材育成費補助金（旧科学技術振興調整費）

事業名	プログラム名称	実施期間
テニュアトラック普及・定着事業		平成26~30年度
卓越研究員事業		平成28~32年度

教育改革プログラム

事業名	プログラム名称	実施期間	申請部局
博士課程教育リーディングプログラム(複合領域型)	グローカルな健康生命科学バイオニア養成プログラムHIGO	平成24~30年度	医学教育部 薬学教育部
課題解決型高度医療人材養成プログラム (医師・歯科医師を対象とした人材養成)	国内初の、肝臓移植を担う高度医療人養成	平成26~30年度	附属病院

土地・建物面積

土地・建物面積

区分	土地(㎡)	建物延面積(㎡)
黒髪北地区	169,619	70,115
文学部・法学部・社文・法曹		13,732
教育学部		15,998
附属図書館		8,884
学内共同教育研究施設等		16,314
その他		15,187
教育学部東教場	26,375	5,949
教育学部		1,758
附属特別支援学校		4,164
その他		27
黒髪南地区	115,176	86,456
理学部		13,667
工学部		33,007
自然科学教育部		16,969
国際先端科学技術研究拠点施設(IRCOST)		2,081
学内共同教育研究施設等		12,024
本部		4,237
その他		4,471
本荘北・中地区	107,551	179,087
医学部		49,380
附属病院		100,732
動物資源開発研究施設		8,451
遺伝子実験施設 アイソトープ総合施設		5,556
エイズ学研究センター		2,272
発生医学研究所		6,478
国際先端医学研究拠点施設(IRCMS)		3,041
その他		3,177



黒髪北地区、黒髪南地区、教育学部東教場

区分	土地(㎡)	建物延面積(㎡)
本荘南地区	25,761	14,082
医学部		13,784
こばと保育園		298
大江地区	51,264	17,466
薬学部		16,538
その他		928
京町地区	51,547	12,136
附属小学校		6,251
附属中学校		5,885
教育学部附属幼稚園	4,632	1,199
附属幼稚園		1,199
大江総合運動場	39,752	3,803
大江総合運動場		3,803
合津マリンステーション	4,903	1,653
合津マリンステーション		1,653
地域共同ラボラトリー	(19,945)	2,085
地域共同ラボラトリー		2,085
その他	63,112	27,667
合計	659,692	421,698



本荘北・中・南地区

8 キャンパス

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバージュニアラム

沿革略図

沿革略年表

位置図



1 黒髪北地区、黒髪南地区、教育学部東教場

(本部棟、附属図書館、文、教育、法、理、工、社文科研、自然科研等)

- ◎JR熊本駅から
産交バス:楠団地、武蔵ヶ丘(子飼橋経由)「熊本大学前」下車
- ◎JR上熊本駅から
都市バス:第一環状線、昭和町線(子飼橋経由)「子飼橋」下車、徒歩10分
- ◎J竜田口駅から
産交バス:交通センター行き「熊本大学前」下車
- ◎交通センターから(16番のりば)
産交バス:楠団地、武蔵ヶ丘、大津行き(子飼橋経由)「熊本大学前」下車

2 本荘北・中・南地区

(医学部・附属病院等)

- ◎JR熊本駅から
都市バス:第一環状線等(大学病院・大江渡鹿経由)「大学病院前」下車
- ◎交通センターから(5番のりば)
都市バス:八王寺環状線・済生会病院・野越団地行き「大学病院前」下車

3 大江地区

(薬学部等)

- ◎JR熊本駅から
市電:健軍町行き(A系統)「味噌天神前」下車、徒歩5分
- ◎交通センターから(18~20番のりば)
産交バス:木山、沼山津、武蔵ヶ丘行き等(健軍・県庁経由)「味噌天神前」下車、徒歩5分
熊本バス:御船、甲佐、城南行き等(健軍・県庁経由)「味噌天神前」下車、徒歩5分
- ◎JR新水前寺駅から
徒歩10分

4 京町地区

(附属小学校・附属中学校)

5 城東町地区

(附属幼稚園)

6 学生寄宿舎、国際交流会館

(アスレチックセンター)

7 大江総合運動場

8 合津マリンステーション

- ◎JR熊本駅・交通センターから(6番のりば)
産交バス:本渡、天草国際ホテル行き
「前島」下車

9 地域共同ラボラトリー

- ◎交通センターから(1番のりば)
産交バス:阿蘇くまもと空港行き(空港リムジン)
「阿蘇くまもと空港」下車、車で5分

主要施設等配置図

【黒髪北・南地区 教育学部東教場】

■ 黑髪北地区

〒860-8555 熊本県中央区黒髪2丁目40番1号
TEL.096(344)2111

- 1 黒髪北N1(文法学部本館)
 - 2 黒髪北N2(文法学部南棟)
 - 3 黒髪北C3(法曹養成研究科自習棟)
 - 4 黒髪北N4(文法学部B講義棟)
 - 5 黒髪北N5(社会文化系研究科研究棟)
 - 6 黒髪北N6(文法学部北棟)
 - 7 黒髪北N7(教育学部音楽棟)
 - 8 黒髪北N8(教育学部実習工場)
 - 9 黒髪北N9(教育学部西棟)
 - 10 黒髪北N10(教育学部本館)
 - 11 黒髪北N11(教育学部東棟)
 - 12 文書館(資料室)
 - 13 愛work
 - 14 知命堂
 - 15 くすの木会館
 - 16 黒髪北設備・管理棟
 - 17 黒髪北C1(共用棟黒髪5)
 - 18 五高記念館(国指定重要文化財)
 - 19 附属図書館中央館
 - 20 附属図書館南館・放送大学熊本学習セン

黑髮南地区

〒860-8555 熊本県中央区黒髪2丁目39番1号
TEL.096(344)2111

- 46 黒髪南W1(工学部研究棟Ⅲ)
 - 47 黒髪南W2((黒髪)総合研究棟)
 - 48 黒髪南W3(共用棟黒髪1)
 - 49 黒髪南W4(工学部研究棟Ⅱ)
 - 50 黒髪南W5(工学部研究棟Ⅳ)
 - 51 黒髪南W6(中央工場A)
 - 52 黒髪南W7(中央工場B)
 - 53 黒髪南W8(ものづくり実習室)
 - 54 黒髪南W9(ものづくり実習室2)
 - 55 工学部百周年記念館
 - 56 黒髪南C1(共用棟黒髪7)
 - 57 黒髪南C2(工学部1号館)
 - 58 黒髪南C3(工学部研究棟I)
 - 59 黒髪南C4(共用棟黒髪2)
 - 60 黒髪南C5(ナゾ構造解析室)
 - 61 黒髪南C6(音響実験室)
 - 62 黒髪南C7(共用棟黒髪3)
 - 63 黒髪南C8(工学部2号館)
 - 64 黒髪南C9(総合情報統括センター)
 - 65 文書館
 - 66 本部[登録有形文化財]
 - 67 工学部研究資料館[国指定重要文化財]
 - 68 南地区門衛所
 - 69 黒髪南E1(理学部1・2号館)
 - 70 黒髪南E2
(自然科学研究科・理学部総合研究実験棟)
 - 71 黒髪南E3(理学部3号館)
 - 72 黒髪南E4(理学部4号館)
 - 73 黒髪南E5(自然科学研究科研究棟)
 - 74 黒髪南E6(自然科学研究科実験棟)
 - 75 黒髪南E7(生物生息環境音響解析室)
 - 76 黒髪南E8
(極低温実験室・Heガス回収中継室)
 - 77 南地区学生会館
 - 78 FORICO(福利施設)
 - 79 黒髪南S1(水理実験棟)
 - 80 黒髪南S2(工学研究機器センター)
 - 81 黒髪南S3(防災実験棟)
 - 82 黒髪南S4(黒髪地区RI施設)
 - 83 黒髪南S5(埋蔵文化財調査センター)



教育学部東教場

〒860-0862
熊本県中央区黒髪5丁目17番1号
TEL 096(342)2956

- 38 黒髪北E8(教育部東教室)
 - 39 黒髪北E9(附属特別支援学校A棟)
 - 40 黒髪北E10(附属特別支援学校B棟)
 - 41 黒髪北E11(附属特別支援学校C棟)
 - 42 黒髪北E12(附属特別支援学校体育馆)
 - 43 黒髪北E13(すずかけの家)
 - 44 ブール
 - 45 運動場

8 キャンパス

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバージュミュージアム
沿革略図

沿革略図

沿革略年表



【本荘北・中・南地区】

■本荘北地区

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
TEL.096(344)2111

1 西病棟

2 東病棟

3 中央診療棟

4 外来診療棟

5 管理棟

6 山崎記念館【登録有形文化財】

7 福利厚生棟

8 備蓄管理棟

9 本荘北1(臨床医学研究棟)

10 本荘北2(医学教育図書棟)

11 本荘北3(医学総合研究棟)

12 本荘北4(基礎医学研究棟)

13 本荘北5(臨床医学教育研究センター)

14 旧医学部臨床研究棟

15 看護師宿舎

16 第一立体駐車場

17 第二立体駐車場

■本荘中地区

〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目2番1号
TEL.096(344)2111

18 本荘中1

(生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設本館)

19 本荘中2(エイズ学研究センター、
生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設新館)

20 本荘中3(国際先端医学研究拠点施設(IRCMS))

21 本荘中4(旧医学部講義棟)

22 本荘中5(発生医学研究所)

23 本荘中6
(生命資源研究・支援センターRI総合施設、遺伝子実験施設)

24 本荘中7(共用棟本荘1)

25 本荘中サークル棟1

26 本荘中サークル棟2

27 本荘中サークル棟3

28 肥後医育記念館

■本荘南地区

〒862-0976 熊本市中央区九品寺4丁目24番1号
TEL.096(344)2111

29 楠樹会館(福利施設)

30 本荘体育館

31 本荘南1(医学部保健学科A・B・C棟)

32 本荘南2(共用棟本荘2)

33 本荘南3(医学部保健学科E棟)

34 本荘南サークル棟1

35 こばと保育園

【大江地区】

■大江地区

〒862-0973 熊本市中央区大江本町5番1号
TEL.096(344)2111

1 大江C1(薬学部本館)

2 大江C2(実験研究棟)

3 大江C3(大学院実験研究棟)

4 大江C4(薬学部講義棟)

5 大江C5(育苗フロンティアセンター)

6 大江W1(薬学部動物舎)

7 大江W2(共同実験棟)

8 大江W3(大江地区RI施設)

9 大江E1((大江)総合研究棟)

10 大江E2(機器分析施設)

11 大江E3(薬用資源工コフロンティアセンター(薬用植物園))

12 作業場・器材舎

13 畜滋館(福利施設)

14 大江体育館

15 宮本記念館

16 薬学部資料館

17 白山町宿舎3棟

18 グラウンド

19 薬用植物園





【京町地区】

■附属小学校・附属中学校 (附属教育実践総合センター)

〒860-0081 熊本中央区京町本丁5番12号
(小学校)TEL.096(356)2492
(中学校)TEL.096(355)0375
(教育実践総合センター)TEL.096(325)3282

- 1 附属小学校管理棟
- 2 附属小学校校舎A棟
- 3 附属小学校校舎B棟
- 4 附属小学校多目的ホール
- 5 附属小学校体育館
- 6 附属小学校グラウンド
- 7 附属小学校プール
- 8 附属中学校校舎
- 9 附属中学校西校舎
- 10 コンピューター棟
- 11 附属中学校体育館
- 12 附属中学校グラウンド
- 13 附属中学校プール
- 14 附属教育実践総合センター



【城東町地区】

■附属幼稚園

〒860-0846 熊本中央区城東町5番9号
TEL.096(352)3483

- 1 管理棟遊戯室
- 2 保育室 A棟
- 3 保育室 B棟
- 4 運動場
- 5 プール



【大江総合運動場】

■大江総合運動場

〒862-0970
熊本中央区渡鹿4丁目1番1号
TEL.096(372)4241

- 1 合宿研修棟
- 2 部室棟
- 3 管理棟
- 4 弓道場
- 5 野球場
- 6 渡鹿体育館
- 7 アーチェリー場
- 8 自動車部練習場



【合津マリンステーション】

■合津マリンステーション

〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津6061番
TEL.0969(56)0277

- 1 研究飼育棟
- 2 研究実験棟
- 3 研究宿泊棟

【地域共同ラボラトリー】

■地域共同ラボラトリー

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081の7
TEL.096(286)1212

- 1 地域共同ラボラトリー
- 2 遠心力試験室

9 熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

五高記念館は国の重要文化財に指定され、本学のシンボルとなっています。このほかにも、重要文化財等の赤煉瓦建物群や登録文化財となっている建物、また、他のキャンパスで保存・活用されている施設があり、これらの建物・施設・資料等から成る熊本大学博物館の実現を目指しています。

五高記念館(国指定重要文化財) 《黒髪北地区》 ※平成28年熊本地震による被災のため休館中

明治20(1887)年、明治政府は全国を五学区に分け高等中学校を設置しました。九州全域は第五区となり熊本に第五高等中学校が置かれ、明治22(1889)年には赤れんが造りの本館が現在地に完成しました。明治27(1894)年には第五高等学校と名称が改まり、昭和25(1950)年の閉校までこの地に歴史を刻みました。

建物は小泉八雲や夏目漱石が教鞭をとった当時のままの教室棟で、五高の歴史を語る様々な資料を展示する資料館となっています。

休館日	毎週火曜日、年末年始 (3月～11月は祝日も開館します) (本学の都合上、臨時に休館する場合があります)
開館時間	午前10時～午後4時 (入館は午後3時30分まで)
入館料	無料



五高記念館(国指定重要文化財)



復原教室



入学試験問題

熊薬ミュージアム(熊薬同窓会館) 《大江地区》

開学100年以上の歴史をもつ薬学部に関する貴重な資料や珍しい実験器具の展示をはじめ、くすりの知識などを紹介する様々なコーナーを設置しています。



熊薬ミュージアム(熊薬同窓会館)



資料展示室



古書



調剤器のいろいろ

肥後医育ミュージアム(肥後醫育記念館) 《本荘中地区》

宝曆6（1756）年に肥後藩主・細川重賢公が創設した日本初の公立学校である「再春館」から現在に至るまで、常に時代に先駆けてきた肥後医育の伝統と歴史を一堂に紹介しています。

休館日	毎週土・日曜日、祭日 年末年始
開館時間	午前10時～午後5時
入館料	無料



肥後医育記念館



館内の展示



館内の展示

表門(国指定重要文化財) 《黒髪北地区》

通称赤門と呼ばれている五高の表門。本館と同じ時期に建設されました。れんがと石を組み合わせた親柱と袖壁からなり、当初は親柱に表札がかけられていました。門に入る所とサインカーブと呼ばれる道が本館まで通じています。



工学部研究資料館(国指定重要文化財)

《黒髪南地区》 ※平成28年熊本地震による被災のため休館中

旧熊本高等工業学校の機械実験工場として明治41(1908)年に完成し、大学に引き継がれた際に工学部中央工場と改称し、昭和45(1970)年に新工場ができるまで実験工場として使用されました。また、機械技術に関わる歴史的遺産を次世代に伝えようと平成19(2007)年に設けられた日本機械学会の「機械遺産」に、同年、館内の工作機械群とともに認定されました。

下記の開館日はもちろん、オープンキャンパスや大学祭でも、すべての機械を動かして見学していただいています。

開館日	毎月第3木曜日 午後1時～午後4時
入館料	無料

工学部研究資料館(内部)



工学部研究資料館(外観)。

化学実験場(国指定重要文化財) 《黒髪北地区》

化学の実験棟として本館と同時期に建設されました。内部には階段教室、薬品室、実験室が一列に並んでおり、当時としては最新の化学実験設備「ドラフトチャンバー」を備えています。平成26(2014)年3月に日本化学会の化学遺産に認定されました。



階段教室

山崎記念館(登録有形文化財)

《本荘北地区》

医学部の中興の祖と称えられる山崎正董博士の功績を記念して、昭和6(1931)年に建設されました。内部を一般公開し未永く保存するため、平成18(2006)年、中央診療棟新築の際、建物ごと48メートル移動させました。



山崎正董博士像



10 沿革略図

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

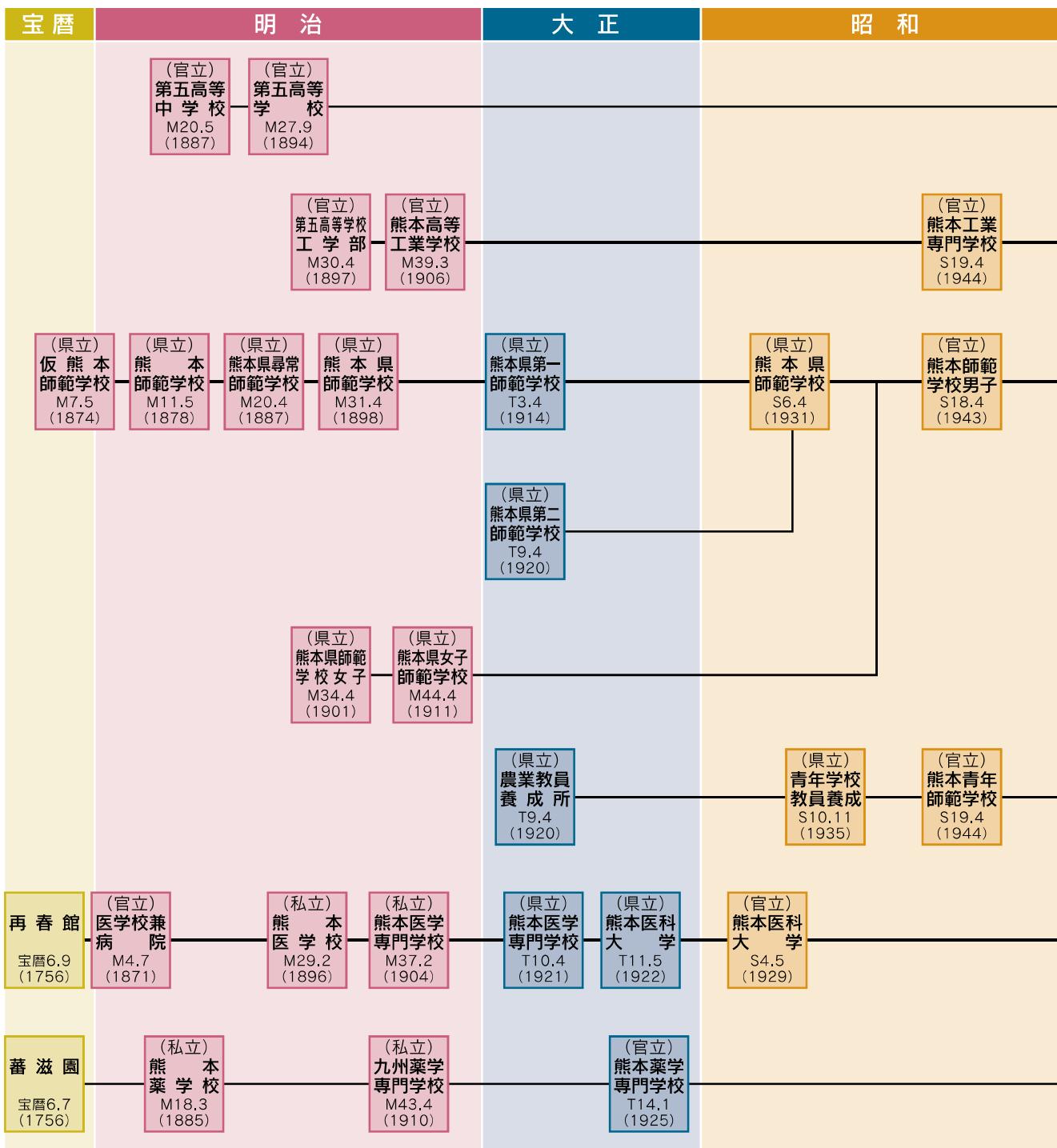
キャンパス

熊本大学
ユバーシティミュージアム

沿革略図

沿革略年表

沿革略図



歴代学長

	氏名	就任年月日
事務取扱	鶴淵 健之	昭和24年 5月31日
初代	鶴淵 健之	昭和25年 1月18日
2代	本田 弘人	昭和34年 5月26日
3代	柳本 武	昭和40年 5月26日
事務取扱	荒木 雄喜	昭和44年 2月12日
事務取扱	忽那 将愛	昭和44年 4月 5日
4代	六反田藤吉	昭和44年10月17日
事務取扱	黒田 正巳	昭和45年 8月31日
5代	黒田 正巳	昭和45年11月20日

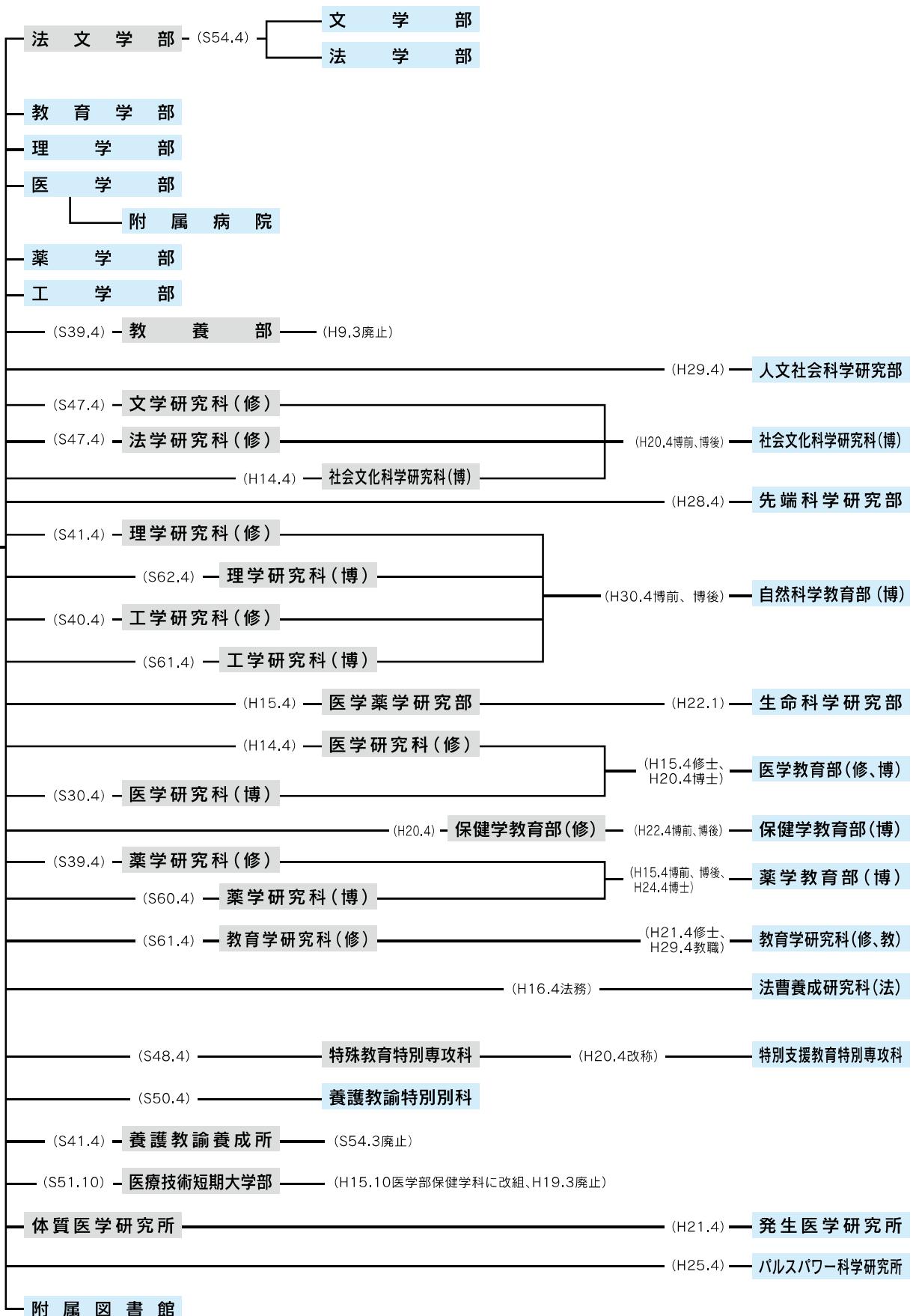
	氏名	就任年月日
6代	岳中 典男	昭和49年11月20日
7代	松山 公一	昭和55年11月20日
8代	松角 康彦	昭和61年11月20日
9代	森野 能昌	平成2年11月20日
10代	江口 吾朗	平成8年11月20日
11代	崎元 達郎	平成14年11月20日
法人化初代	崎元 達郎	平成16年 4月 1日
12代	谷口 功	平成21年 4月 1日
13代	原田 信志	平成27年 4月 1日

熊本大学

S24.5
(1949)創立

熊本 国 立 大 学 法 人

H16.4
(2004)



*学部・大学院・研究所のみ記載。

*詳細な沿革図は別紙で作成しております。 熊本大学公式ウェブサイトからダウンロードできます。 URL: <https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/gaiyou/gaiyou/index>

11 沿革略年表

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバーシティ・ミュージアム
沿革略年表

沿革略年表

S24. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本大学設置 法文学部(法学科、哲学科、史学科、文学科) 教育学部(小学校教員養成課程、中学校教員養成課程) (附属小学校、附属中学校、附属幼稚園) 理学部(数学科、物理学科、化学科、地学科、生物学科) 医学部(医学科)(附属病院、附属厚生女学部) 薬学部(薬剤学科、製薬学科) 工学部(土木建築工学科、採鉱冶金学科、機械工学科、電気工学科、工業化学科) 体质医学研究所、附属図書館(本館、教育学部分館、医学部分館、薬学部分館、工学部分館) 		<ul style="list-style-type: none"> 理学研究科修士課程(数学専攻、物理学専攻、化学専攻、地学専攻、生物学専攻)設置 医学部附属中毒研究施設設置 工学部附属工学研究機器センター設置 養護教諭養成所設置
S26. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属厚生女学部を廃止し、附属看護学校設置 	S42. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科電子工学専攻設置
S27. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属看護学校助産婦養成科設置 	S44. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属養護学校高等部設置
S29. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部附属臨海実験所設置 ・医学部附属看護学校助産婦養成科を廃止し、附属助産婦学校設置 ・薬学専攻科、工学専攻科設置 	S46. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属診療エックス線技師学校を附属診療放射線技師学校に改称
S30. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学進学課程設置 ・理学専攻科設置 ・医学研究科博士課程(生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻)設置 ・工学部土木工学科、建築学科設置(土木建築工学科を分離) 	S47. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科合成化学専攻設置
. 7		S48. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部附属衝撃エネルギー実験所設置
S33. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・法文学専攻科設置 	S49. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・法文学専攻科廃止
S34. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部鉱山工学科、金属工学科設置(採鉱冶金学科を分離) 	S50. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・文学研究科英文学専攻設置
S35. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部各養成課程の2年課程廃止 	S51. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊教育特別専攻科設置
. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・附属図書館教育学部分館を本館に統合、工学部分館を工学部分室と改称 	S52. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属免疫医学研究施設設置
S36. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部生産機械工学科設置 	S53. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・保健管理センター設置
S38. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部養護学校教員養成課程設置 ・工学部電子工学科設置 ・教育専攻科設置 	S54. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部附属薬用植物園設置
S39. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・薬学専攻科廃止 	S55. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部環境建設工学科設置
. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属衛生検査技師学校設置 ・医学研究科修士課程(薬剤学専攻、製薬学専攻)設置 ・教養部設置 	S56. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭特別別科設置
S40. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・工学専攻科廃止 	S57. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部(看護学科、衛生技術学科)設置
. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属養護学校設置 ・医学部附属診療エックス線技師学校設置 ・工学部鉱山工学科を資源開発工学科に改組、工学部合成化学科設置 ・工学研究科修士課程(土木工学専攻、建築学専攻、資源開発工学専攻、金属工学専攻、機械工学専攻、生産機械工学専攻、電気工学専攻、工業化學専攻)設置 	S58. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部教育工学センター設置
S41. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・理学専攻科廃止 ・教育学部特別教科(看護)教員養成課程設置 	S59. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属動物実験施設設置
. 4		S60. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部情報工学科設置
		S61. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属助産婦学校、附属診療放射線技師学校廃止
			<ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻設置
			<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属中毒研究施設及び附属免疫医学研究施設を廃止し、附属免疫医学研究施設設置
			<ul style="list-style-type: none"> ・文学研究科地域科学専攻設置
			<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科情報工学専攻設置
			<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属遺伝医学研究施設設置
			<ul style="list-style-type: none"> ・体质医学研究所廃止
			<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部薬剤学科及び製薬学科を改組し、薬学科設置
			<ul style="list-style-type: none"> ・薬学研究科医療薬科学専攻(博士課程)設置(薬剤学専攻、製薬学専攻を改組)
			<ul style="list-style-type: none"> ・法文学部廃止

沿革略年表

		<ul style="list-style-type: none"> ・教育専攻科廃止 		<ul style="list-style-type: none"> 学科に改組
.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学研究科修士課程(学校教育専攻、障害児教育専攻、教科教育専攻)設置 ・工学部電気工学科、電子工学科及び情報工学科を電気情報工学科に、工業化学科及び合成化学科を応用化学科に改組 ・工学研究科生産科学専攻(博士課程)設置 	H10.	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部生涯スポーツ福祉課程設置
S62.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・理学研究科環境科学専攻(博士課程)設置 ・工学部資源開発工学科、金属工学科を材料開発工学科に、機械工学科、生産機械工学科を機械工学科に改組 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・法学部法律学科を法学科及び公共政策学科に改組
.	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共同研究センター設置 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・理学研究科地学専攻を地球科学専攻に改組
S63.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属教育工学センターを附属教育実践研究指導センターに改組 ・工学部土木工学科、建築学科及び環境建設工学科を改組し、土木環境工学科、建築学科設置 ・自然科学研究科博士課程(生産科学専攻、システム科学専攻、環境科学専攻)設置(理学研究科環境科学専攻(博士課程)及び工学研究科生産科学専攻(博士課程)を振替) 		<ul style="list-style-type: none"> ・大学教育研究センター(学内措置)設置
H 2.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科電気工学専攻、電子工学専攻及び情報工学専攻を電気情報工学専攻に、工業化専攻及び合成化学専攻を応用化学専攻に改組 ・理学部生物学科を生物科学科に改組 		<ul style="list-style-type: none"> ・理学研究科修士課程を廃止
.	6	<ul style="list-style-type: none"> ・総合情報処理センター設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科修士課程を廃止
H 3.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科資源開発工学専攻及び金属工学専攻を材料開発工学専攻に、機械工学専攻及び生産機械工学専攻を機械工学専攻に改組 ・機器分析センター設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・附属図書館工学部分室を廃止
H 4.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属免疫医学研究施設及び附属遺伝医学研究施設を廃止し、附属遺伝発生医学研究施設設置 ・医学研究科脳・免疫統合科学系専攻(博士課程)設置 ・工学研究科土木工学専攻、建築学専攻及び環境建設工学専攻を土木環境工学専攻及び建築学専攻に改組 		<ul style="list-style-type: none"> ・薬学研究科博士課程に臨床薬学専攻を設置、医療薬科学専攻を薬科学専攻に改組
H 5.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部地学科を地球科学科に改組 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学研究科に博士前期課程として物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻を設置し、博士後期課程として物質・生命科学専攻を設置
H 6.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医学進学課程廃止 		<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属遺伝発生医学研究施設トランスジェニック実験室及び医学部附属動物実験施設を廃止し、動物資源開発研究センター設置
.	6	<ul style="list-style-type: none"> ・理学研究科生物学専攻を生物化学専攻に改組 ・遺伝子実験施設設置 ・アイソトープ総合センター設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学研究科博士後期課程生産科学専攻及びシステム科学専攻を生産システム科学専攻及びシステム情報科学専攻に改組
H 7.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生センター設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・工学部附属衝撃エネルギー実験所及び理学部極低温装置室を整備統合し、衝撃・極限環境研究センターを設置
H 8.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部土木環境工学科、建築学科、材料開発工学科、機械工学科、電気情報工学科及び応用化学科を環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科及び物質生命化学科に改組 		<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全センター(学内措置)設置
H 9.	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教養部廃止 		<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部地域共生社会課程設置
.	4	<ul style="list-style-type: none"> ・文学部哲学科及び史学科を人間科学科及び歴史 		<ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属遺伝発生医学研究施設を廃止し、発生医学研究センター設置
				<ul style="list-style-type: none"> ・教育学研究科養護教育専攻設置
				<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学研究科博士後期課程環境科学専攻を環境共生科学専攻に改組
				<ul style="list-style-type: none"> ・文学研究科哲学専攻、地域科学専攻、史学専攻、国文学専攻、英文学専攻及び独文学専攻を人間科学専攻、地域科学専攻、歴史学専攻及び言語文学専攻に改組
				<ul style="list-style-type: none"> ・法学研究科法律学専攻を法学専攻及び公共政策専攻に改組
				<ul style="list-style-type: none"> ・薬学研究科分子機能薬学専攻(博士課程)設置
				<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習教育研究センター設置
				<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸域環境科学教育研究センター設置(理学部附属臨海実験所の転換)
				<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属教育実践研究指導センターを附属教育実践総合センターに改組
				<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全センター(学内措置)を環境安全センター(学内措置)に改称

11 沿革略年表

沿革略年表

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

熊本大学
ユバージュミュージアム
沿革略年表

沿革略年表

- ・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置
- ・情報プラザ設置
- H14. 4
 - ・医学研究科修士課程(医科学専攻)設置
 - ・社会文化科学研究科博士課程(文化学専攻、公共社会政策学専攻)設置
 - ・総合情報処理センターを総合情報基盤センターに改組
 - ・インキュベーション施設設置
- . 10
 - ・医学薬学研究部設置
 - ・医学研究科修士課程、博士課程を廃止し、医学教育部修士課程(医科学専攻)、医学教育部博士課程(生体医科学専攻、病態制御学専攻、臨床医科学専攻、環境社会医学専攻)設置
 - ・薬学研究科博士課程を廃止し、薬学教育部博士課程(分子機能薬学専攻、生命薬科学専攻)設置
 - ・薬学部附属薬用植物園を廃止し、薬学教育部附属薬用植物園設置
 - ・機器分析センター、遺伝子実験施設、アイソトープ総合センター、動物資源開発研究センターを廃止し、生命資源研究・支援センター設置
 - ・大学教育機能開発総合研究センター設置
 - ・大学教育研究センター(学内措置)を廃止し、教養教育実施機構(学内措置)設置
- . 10
 - ・教育学部特別教科(看護)教員養成課程、医療技術短期大学部を改組し、医学部保健学科設置
 - ・設置者が国から国立大学法人へ変更
 - ・法学部法学科及び公共政策学科を法学科に改組
 - ・理学部数理科学科、物理科学科、物質化学科、地球科学科、生物科学科、環境理学科を理学科に改組
 - ・法学研究科法学専攻及び公共政策専攻を法学公共政策学専攻に改組
 - ・法曹養成研究科設置
 - ・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーをベンチャー・ビジネス・ラボラトリーに改称
 - ・保健管理センターを保健センターに改称
 - ・政策創造研究センター設置
- H16. 4
 - ・文学部人間科学科、地域科学科、歴史学科、文学科を総合人間学科、歴史学科、文学科、コミュニケーション情報学科に改組
 - ・工学部附属ものづくり創造融合工学教育センター設置
- H17. 4
 - ・工学部環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、物質生命化学科を社会環境工学科、建築学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、情報電気電子工学科、数理工学科、物質生命化学科に改組
 - ・薬学部薬科学科を薬学科、創薬・生命薬科学科に改組
- . 9
 - ・自然科学研究科博士前期課程(物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻)及び自然科学研究科博士後期課程(生産システム科学専攻、システム情報科学専攻、環境共生科学専攻、物質・生命科学専攻)を自然科学研究科博士前期課程(理学専攻、複合新領域科学専攻、物質生命化学専攻、マテリアル工学専攻、機械システム工学専攻、情報電気電子工学専攻、社会環境工学専攻、建築学専攻)及び自然科学研究科博士後期課程(理学専攻、複合新領域科学専攻、産業創造工学専攻、情報電気電子工学専攻、環境共生工学専攻)に改組
 - ・薬学部附属創薬研究センター設置
 - ・社会文化科学研究科修士課程(教授システム学専攻)設置
 - ・環境安全センターを学内共同教育研究施設として改組
- . 12
 - ・法曹養成研究科附属臨床法学教育研究センター設置
- H19. 3
 - ・五高記念館設置
 - ・医療技術短期大学部廃止
- . 4
 - ・大学院先導機構設置
 - ・生涯学習教育研究センター、政策創造研究センターを廃止し、政策創造研究教育センター設置
 - ・eラーニング推進機構設置
 - ・教育学部附属養護学校を教育学部附属特別支援学校に改称
 - ・教育学部養護学校教員養成課程を教育学部特別支援学校教員養成課程に改称
 - ・自然科学研究科附属総合科学技術共同教育センター設置
- . 10
 - ・バイオエレクトリクス研究センター設置
 - ・地域共同研究センター、知的財産創生推進本部、インキュベーション施設、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーを発展的に再編し、イノベーション推進機構設置
 - ・文学研究科(修士課程)人間科学専攻、地域科学専攻、歴史学専攻、言語文学専攻、法学研究科(修士課程)法学公共政策学専攻及び社会文化科学研究科(修士課程)教授システム学専攻を社会文化科学研究科(博士課程前期)公共政策学専攻、法学専攻、現代社会人間学専攻、文化学専攻、教授システム学専攻に改組
 - ・社会文化科学研究科(博士課程)文化学専攻、公共社会政策学専攻を社会文化科学研究科(博士後期課程)人間・社会科学専攻、文化学専攻、教授システム学専攻に改組
- H20. 4
 - ・

沿革略年表

			・大学情報分析室設置
			・地域創生推進機構設置
			・国際化推進機構、国際化推進センターをグローバル推進機構、グローバル教育カレッジに改組
			・国際先端医学研究機構設置
			・工学部附属革新ものづくり教育センターを工学部附属グローバルものづくり教育センターに改組
			・イノベーション推進人材育成センター(HUREC)をくまもと地方産業創生センターに改組
			・障がい学生支援室設置
			・教育学部特別支援学校教員養成課程を教育学部特別支援教育教員養成課程に改称
			・国際先端科学技術研究機構設置
			・先端科学研究所設置
			・生命科学研究部総合医薬科学部門に代謝・循環医学講座を、先端生命医療科学部門にがん医学講座を設置
			・生命科学研究部附属臨床研究支援センター廃止
			・文書館設置
			・教養教育機構及び大学教育機能開発総合研究センターを廃止し、大学教育統括管理運営機構設置
			・人文社会科学研究部設置
			・教育学研究科(教職大学院の課程)教職実践開発専攻設置
			・熊本創生推進機構設置
			・永青文庫研究センター設置
			・教授システム学研究センター設置
			・くまもと水循環・減災研究教育センター設置
			・文学部附属漱石・八雲教育研究センター設置
			・工学部物質生命化学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科、情報電気電子工学科、数理工学科を土木建築学科、機械数理工学科、情報電気工学科、材料・応用化学科に改組
			・自然科学研究科(博士前期課程)理学専攻、数学専攻、複合新領域科学専攻、物質生命化学専攻、マテリアル工学専攻、機械システム工学専攻、情報電気電子工学専攻、社会環境工学専攻、建築学専攻及び自然科学研究科(博士後期課程)理学専攻、複合新領域科学専攻、産業創造工学専攻、情報電気電子工学専攻、環境共生工学専攻を、自然科学研究部(博士前期課程)理学専攻、土木建築学専攻、機械数理工学専攻、情報電気工学専攻、材料・応用化学専攻及び自然科学研究部(博士後期課程)理学専攻、工学専攻に改組
			・工学部附属グローバルものづくり教育センターを廃止し、工学部附属グローバル人材基礎教育センターを設置
			・生命科学研究部附属健康長寿代謝制御研究センター設置

創
造
す
る
森
挑
戦
す
る
炎



井上雄彦
記す



国立大学法人 熊本大学

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1

TEL.096-344-2111(代表)

<http://www.kumamoto-u.ac.jp>

平成30年7月発行

「創造する森 挑戦する炎」には、本学が熊本の地で長年培ってきた3つの特質

- 地域に身近で世界とつながる、機動力あふれる総合大学
- 実践的課題解決力をもち粘り強く取り組む、パワーリーダーの育成と輩出
- 歴史や環境を活かして社会が求めるイノベーションを創出する、知的専門家集団をわかりやすく伝えたい、そして今後も守り育てていきたいという想いが込められています。

揮毫は、かつて本学に在籍された漫画家・井上雄彦氏にお願いしました。